

**Pioneer** *sound.vision.soul*

CD/チューナー・WMA/MP3/WAV対応・  
DSPメインユニット

**DEH-P099**

**取扱説明書**

目次 4ページ

**carrozeria**

# 安全のために必ずお守りください

## 絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

■表示内容を見逃して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



### 警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



### 注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意（警告を含む）しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止（やってはいけないこと）の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。



## 警告

### [異常時の処置]

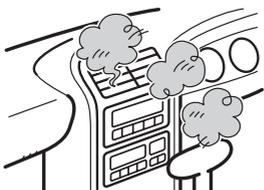
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

# CONTENTS

## はじめに

### はじめに

- 1 各部のなまえ 8
- 2 ご使用になる前に 10
- 3 デモモードについて 11
- 4 リモコンの準備 12
- 5 DSPモードを切り換える 12
- 6 本機のリセットについて 13
- 7 ガイド表示について 13

## ここだけ読めばすぐ使えます

### ここだけ読めばすぐ使えます

- 1 聞きたいソース（音源）を選ぶ 14
  - 電源を切る
- 2 内蔵CDのふだんの操作 16
  - CDを再生する
  - 曲を選ぶ
  - 早送り/早戻しをする
  - 音量を調節する
  - CDを取り出す
- 3 WMA/MP3/WAVのふだんの操作 18
  - CD-ROMを再生する
  - フォルダを選ぶ
  - 曲を選ぶ
  - 早送り/早戻しをする
  - 音量を調節する
  - CD-ROMを取り出す
- 4 ラジオのふだんの操作 20
  - バンドを選ぶ
  - 放送局を選ぶ
  - 音量を調節する
- 5 マルチCDのふだんの操作 22
  - CDを選ぶ
  - 曲を選ぶ
  - 早送り/早戻しをする
  - 音量を調節する

## 内蔵CD

### 内蔵CDでCDを聞く

- 1 聞きたい曲を直接選ぶ 24
- 2 モードの切り換えかた 24
- 3 同じ曲を繰り返し聞く 25
- 4 いつもと違う曲順で聞く 25
- 5 聞きたい曲をさがす 26
- 6 CD再生を一時停止する 26
- 7 選曲方法を切り換える 26
- 8 10曲飛びに選曲する 27
- 9 CDの音質を調節する 27
- 10 CDのタイトルを表示させる 28
- 11 タイトル表示を切り換える 28
- 12 曲名を見て聞きたい曲をさがす 29

## WMA/MP3/WAV

### WMA/MP3/WAVを聞く

- 1 聞きたい曲を直接選ぶ 30
- 2 モードの切り換えかた 30
- 3 同じ曲やフォルダを繰り返し聞く 31
- 4 いつもと違う曲順で聞く 32
- 5 聞きたい曲やフォルダをさがす 32
- 6 WMA/MP3/WAV再生を一時停止する 33
- 7 選曲方法を切り換える 34
- 8 フォルダ内の曲を10曲飛びに選曲する 34
- 9 TAG表示をON/OFFする 35
- 10 WMA/MP3/WAVの音質を調節する 35
- 11 タイトル表示を切り換える 36
- 12 ファイル名を見て聞きたい曲をさがす 37

## ラジオ

### ラジオを聞く

- 1 放送局を1局ずつ記憶させる 38
- 2 記憶させた放送局を呼び出す 38
- 3 モードの切り換えかた 39
- 4 複数の放送局を自動的に記憶させる 39
- 5 放送局名を見て聞きたい放送局を呼び出す 40
- 6 放送局名を選ぶ 40
- 7 放送局名を表示させる 41

# 目次

すぐ使えます  
ここだけ読めば

マルチCD

## マルチCDでCDを聞く

(別売のマルチCDを組み合わせたときのみ)

- 1 聞きたいCDを直接選ぶ 42
- 2 聞きたい曲を直接選ぶ 42
- 3 モードの切り換えかた 43
- 4 同じ曲やCDを繰り返し聞く 44
- 5 いつもと違う曲順で聞く 44
- 6 聞きたい曲やCDをさがす 45
- 7 CD再生を一時停止する 45
- 8 聞きたい曲だけ記憶させておく 46
- 9 記憶させた曲だけ再生する 47
- 10 記憶させた曲を1曲ずつ  
記憶から消す 47
- 11 記憶させた曲をCDごとに  
記憶から消す 48
- 12 CDの音質を調整する 49
- 13 CDのタイトルを表示させる 50
- 14 タイトルを見て聞きたいCDを  
さがす 51
- 15 タイトル表示を切り換える 52
- 16 曲名を見て聞きたい曲をさがす 53

テレビ

## テレビを見る

(別売のテレビを組み合わせたときのみ)

- 1 テレビのふだんの操作 54
- 2 ファンクションモードの操作 55
- 3 チャンネル一覧から見たい  
チャンネルを呼び出す 55

DVD

## DVDを聞く

(別売のDVDを組み合わせたときのみ)

- 1 DVDのふだんの操作 56
- 2 ファンクションモードの操作 57

すぐに使いたいときは、  
ここをお読みください。

.....  
はじめに

.....  
内蔵CDでCDを聞く

.....  
WMA/MP3/WAVを聞く

.....  
ラジオを聞く

.....  
マルチCDでCDを聞く

.....  
テレビを見る

.....  
DVDを聞く

.....  
音を調節する

.....  
便利な機能と初期設定

.....  
その他(付録)

# CONTENTS

## 音の調節

### 音を調節する

- 1 DSPについて 58
- 2 オーディオ調節のポイント 59
- 3 オーディオ調節モードの切り換えかた 60
- 4 音場の中心で聞く 61
- 5 前後左右の音量バランスを調節する 62
- 6 タイムアライメントを選ぶ 63
- 7 タイムアライメントを調節する 63
- 8 ネットワークを調節する前に 64
- 9 ネットワークを調節する 66
- 10 サブウーファーを使う 68
- 11 低い音を出力しないようにする 69
- 12 オートイコライザーをON/OFFする 71
- 13 イコライザーカーブを選ぶ 71
- 14 イコライザーカーブを大まかに補正する 72
- 15 イコライザーカーブを細かく調節する 72
- 16 音響効果をかける 73
- 17 小音量時の音にメリハリをつける 74
- 18 イメージに合った演奏会場を再現する 74
- 19 騒音に合わせて音量を変える 75
- 20 各ソースの音量の違いをそろえる 76
- 21 オートタイムアライメント&イコライジングを行う前に 76
- 22 オートタイムアライメント&イコライジングを行う 78

## 便利な機能

### 便利な機能と初期設定

- 1 瞬時に音量を小さくする 80
- 2 時計を表示させる 80
- 3 よく使う機能を直接操作する 81
- 4 交通情報を受信する 81
- 5 初期設定モードの切り換えかた 82
- 6 時計を合わせる 83
- 7 外部機器の音声を聞く 83
- 8 外部機器の名称を入力する 84
- 9 夜間のディスプレイの明るさを切り換える 84
- 10 ディ스플레이の明るさを調節する 85
- 11 音の歪みを補正する 85
- 12 ミュート/アッテネートを切り換える 86
- 13 フィーチャーデモをON/OFFする 86
- 14 リバースモードをON/OFFする 87
- 15 CDタイトルなどのスクロールのしかたを切り換える 87
- 16 エンタテインメントを表示する 88
- 17 エンタテインメント表示を書き換える 89

# 目次

## その他 (付録)

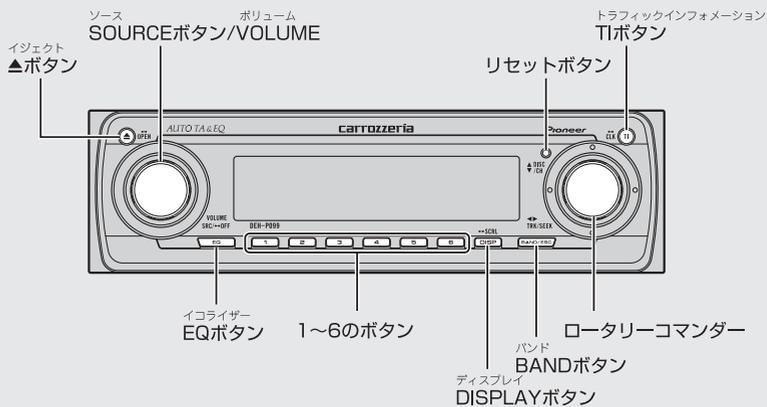
1	CDの正しい使いかた	90
2	WMA/MP3/WAVファイルについて	92
3	故障かな?と思ったら	95
4	こんなメッセージが表示されたら	97
5	保証書とアフターサービス	99
6	用語解説	100
7	おもな仕様	102
8	DSP調整値記入表	104

すぐに使いたいときは、  
ここをお読みください。

.....	はじめに	.....
.....	内蔵CDでCDを聞く	.....
.....	WMA/MP3/WAVを聞く	.....
.....	ラジオを聞く	.....
.....	マルチCDでCDを聞く	.....
.....	テレビを見る	.....
.....	DVDを聞く	.....
.....	音を調節する	.....
.....	便利な機能と初期設定	.....
.....	その他 (付録)	.....

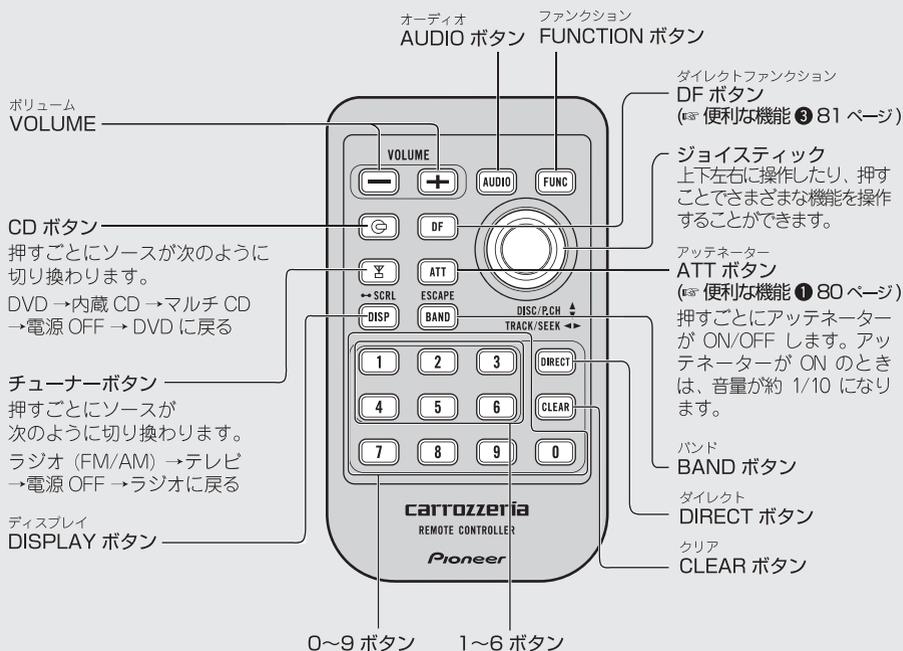
## 各部のなまえ

## 本体



## リモコン

各ボタンは、本体の同じなまえのボタンと同じ働きをします。



### FUNCTIONボタンについて

FUNCTIONボタンを押すと、ファンクションモードを切り換えることができます。

(※ 内蔵CD ② 24ページ)

(※ WMA/MP3/WAV ② 30ページ)

(※ ラジオ ③ 39ページ)

(※ マルチCD ④ 43ページ)

### DFボタンについて

DFボタンを押すと、ソースごとにあらかじめ記憶されている機能を直接操作することができます。内蔵CD・マルチCD・1枚型DVD/マルチDVDでポーズ、ラジオでBSM、テレビでBSSMを操作することができます。(※ 便利な機能 ⑧ 81ページ)

### ジョイスティックについて

本体のロータリーコマンドと同様の操作をすることができます。(ただし、ロータリーコマンドを回す操作には対応していません。)

### AUDIOボタンについて

AUDIOボタンを押すと、オーディオ調節モードを切り換えることができます。(※ 音の調節 ⑥ 60ページ)

はじめに

## 2

## ご使用になる前に

## 本機の特長

本機は、音楽CD、WMA/MP3/WAVの再生に対応しています。

## CD再生

音楽用のCD/CD-R/CD-RWを再生することができます。

## WMA/MP3/WAV再生

WMA、MP3およびWAVファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、およびレベル2（※ **その他⑨ 92ページ**）、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）（※ **その他⑨ 92ページ**）に準拠して記録されたディスクが再生可能です。

## WMAについて



外装箱に印刷された、Windows Media™のロゴは、本機がWMAデータの再生に対応していることを示しています。

WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

## メモ

- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。
- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

## MP3について

本機を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、本機を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送で本機を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページ

<http://www.mp3licensing.com>

をご覧ください。

営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、インターネットをはじめとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配布システムなど。

## バッテリー上がりを防ぐために

本機をお使いになるときは、必ず車のエンジンをかけてください。

また、本機が電源OFFのときでも、車のエンジンを止めた状態で、長時間、車のイグニッションスイッチをON（またはACC）にしないでください。バッテリーが上がる恐れがあります。

## 「CD TEXT」について

「CD TEXT」とは、CDのタイトル/歌手名/曲名などの文字情報が収録されたCDです。ディスクタイトル面に下記マークのついているCDは、「CD TEXT」です。（下記マークが付いていない「CD TEXT」もありません。）



## 50枚型マルチCDプレーヤーの使用について

本機では、50枚型マルチCDプレーヤーの取扱説明書に記載されている50枚型マルチCDプレーヤー特有の機能を操作することはできません。本機で操作できるのは、本書に記載されている機能のみです。

### メモ

- 本機のディスクリスト機能（**MP マルチCD 51 ページ**）は、50枚型マルチCDプレーヤーでは操作できません。）

はじめに

## 3

## デモモードについて

本機には、リバースモードとフィーチャーデモの2つのデモモードがあります。

### リバースモードについて

リバースモードは、各ソースを聞いているときに約30秒間操作しないと画面が自動的に反転する機能です。反転は、10秒間隔で行われます。

リバースモードを解除したいときは、車のイグニッションスイッチがON（またはACC）のときに本機の電源をOFFにして5のボタンを押してください。もう一度押すと、ONになります。

### メモ

- エンタテインメント表示の中には、リバースモードをONにしても反転しないものもあります。

### フィーチャーデモについて

フィーチャーデモは、本機が電源OFFのときに、各ソースや本機の機能（エンタテインメント、SFCなど）の画面を表示して紹介する機能です。

フィーチャーデモを解除したいときは、フィーチャーデモが表示されているときに6のボタンを押してください。もう一度押すと、デモが始まります。

車のエンジンを止めた状態で、フィーチャーデモを長時間表示すると、バッテリー上がりの原因になります。

### メモ

- 赤リード線（アクセサリ電源）は、常に車のバッテリーから電源を供給する電源回路には接続しないでください。車のイグニッションスイッチと本機の電源をOFFにしても、フィーチャーデモが表示され、バッテリー上がりの原因になります。

はじめに

## 4

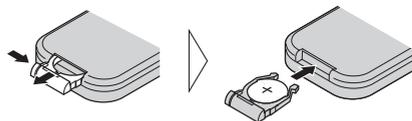
## リモコンの準備

付属のリモコンを使うための準備です。

## リモコンに電池を入れる

リモコンを裏返し、電池ホルダーを取り出し、リチウム電池（CR2025）を⊕側を上にしてセットします。

はじめてお使いになるときは、電池ホルダー部から出ているフィルムを引き抜いてください。電池があらかじめセットされているので、すぐにお使いいただけます。



リモコンの操作可能範囲が狭くなったときは、新しい電池と交換してください。

## リモコン取り扱い上のご注意

- リモコンを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- 本体に直射日光が当たっていると、リモコンの操作ができないことがあります。このようなときは、本体にリモコンを近づけて操作してください。
- 付属の電池は、充電しないでください。
- リモコンを長い間使わないときは、電池を取り出してください。取り出した電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。
- 電池の液もれが起こったときは、内部についた液をよくふき取ってから、新しい電池と入れ換えてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

はじめに

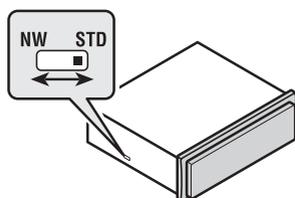
## 5

## DSPモードを切り換える

本機には、3-wayネットワークモード（NW）とスタンダードモード（STD）の2つの動作モードがあります。お好みに合わせて、モードを切り換えることができます。初期設定は、スタンダードモードになっています。

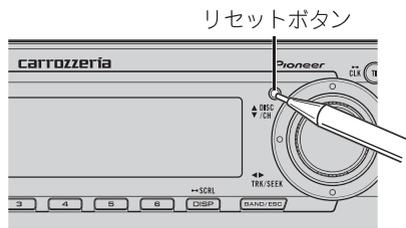
## 1 DSPモードを切り換える

ペン先などで好みのモードに切り換える



## 2 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



## メモ

- リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期状態に戻ります。（※ はじめに⑥）
- リセットボタンを押すことで、設定したDSPモードが有効になります。

はじめに

# 6

## 本機のリセットについて

リセット

本機を初期設定状態に戻すことができます。

### リセットボタンについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期設定状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

- 接続が終わった後。
- 本機が正しく動作しないとき。
- ディスプレイが正しく表示されないとき。

リセットボタンを押すと、本機の記憶（時計やラジオのプリセットなど）が消去されます。もう一度、セットしなおしてください。

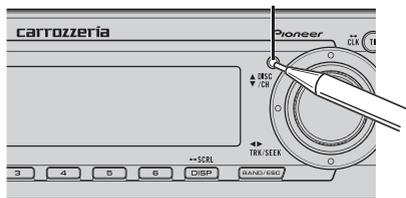
### ご注意

本機をリセットする前に、フロントパネルを閉めておいてください。（CDを挿入口に差したままにしないでください。）

## 1 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す

リセットボタン



### メモ

- フロントパネルを開けたままリセットすると、自動的にフロントパネルが閉じます。

はじめに

# 7

## ガイド表示について

本機の実操作を行っているとき、ディスプレイを見て操作できるように、ディスプレイにガイド表示が出ます。



### 表示の例

### 内容



ロータリーコマンドーを上下左右に操作して本機を操作できます。



ロータリーコマンドーを押すことで機能のON/OFFができます。



ロータリーコマンドーを左右に操作して項目を選ぶことができます。

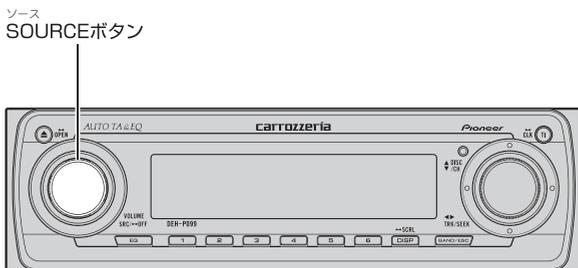
はじめに

ここだけで

# 1

## 聞きたいソース（音源）を選ぶ ● 電源を切る

聞きたいソース（音源）に切り換えることができます。



### テレビ、1枚型DVD、マルチDVD を接続したときは

操作のしかたは、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

組み合わせ例

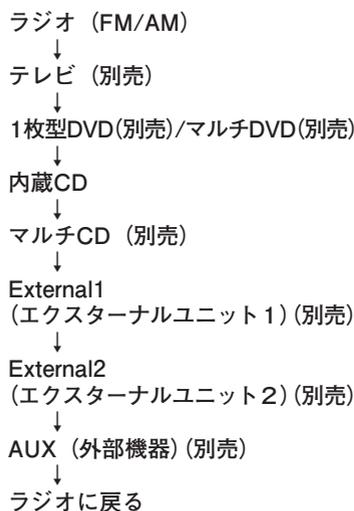
ソース	製品の型番
テレビ	「AVX-P777」
1枚型DVD	「SDV-P7」
マルチDVD	「XDV-P9Ⅱ」

上記の製品の取扱説明書では、本機以外の製品を例にして、操作説明が行われている場合があります。その製品と対応しているボタンで操作を行ってください。

## 1 ソースを切り換える

### SOURCEボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



## 2 電源を切る

### SOURCEボタンを1秒以上押す

本機の電源が切れます。

### メモ

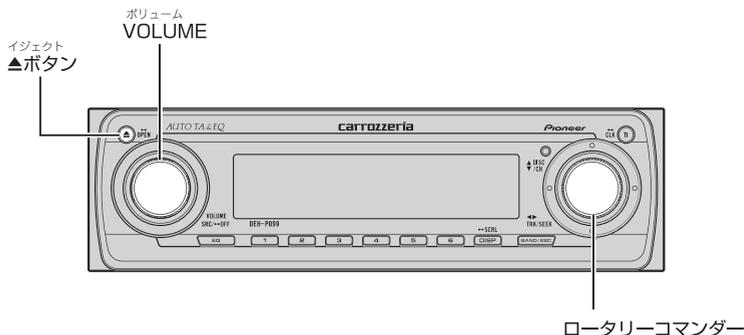
- 接続していないソースには切り換わりません。
- ディスクがセットされていないときは、そのソースには切り換わりません。
- AUX (外部機器) の設定 (※**便利な機能⑦ 83ページ**) をONにしないと、AUXには切り換わりません。
- 本機の青リード線 (オートアンテナ) に車側のオートアンテナコントロール端子を接続している場合、ソースをラジオにすると車に装備されているオートアンテナがのびます。
- External (エクスターナルユニット) とは、本機がソースとして対応していないパイオニア製品 (将来発売される製品など) の基本的な機能をコントロールできるように用意している特別なソースです。本機では、2台のExternal (エクスターナルユニット) をコントロールすることができますが、External1、External2のどちらに切り換えても“External”が表示されます。2台のExternal (エクスターナルユニット) を接続した場合、本機によって、External1、External2が自動的に設定されます。

ここだけで

## 2

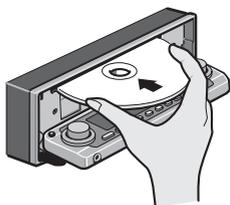
# 内蔵CDのふだんの操作 ● CDを再生する ● 曲を選ぶ

ここだけの操作で、CDを聞くことができます。



## 1 CDを再生する

▲ボタンを押して、フロントパネルを開け、CDをCD挿入口に差し込む



タイトル面を上にして差し込みます。

### ご注意

CDシングル(8cmCD)もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対に使用しないでください。

↓  
自動的にフロントパネルが閉まり、CDの再生が始まります。

## 2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

ロータリーコマンドーを左右に操作する

右：次の曲を選ぶとき(または早送り)  
左：前の曲を選ぶとき(または早戻し)

### 選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し <sup>*1</sup>	0.5秒以上押し 続けている間

<sup>\*1</sup> 選曲方法をラフサーチに設定した場合は、10曲飛びに選曲します。

(※ 内蔵CD② 27ページ)

## ⚠ 注意

フロントパネルを開けたままで使用しない



禁止

フロントパネルを開けたままでは使用しないでください。万一、事故が起きた場合、開けたままのフロントパネルに当たるとケガの原因となります。

● 早送り / 早戻しをする ● 音量を調節する ● CD を取り出す

トラックサーチ / 早送り / 早戻し / 音量調節

ここだけ読めば  
すぐ使えます



再生経過時間 曲番号

### 3 音量を調節する

VOLUMEを回す

右回し：大きくするとき

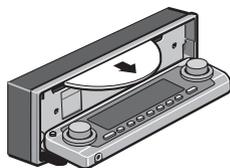
左回し：小さくするとき

●音量は、0～40の範囲で調節できます。

### 4 CDを取り出して CD再生をやめる

▲ボタンを押す

自動的にフロントパネルが開きCDが出てきます。



●出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。



▲ボタンを押して、フロントパネルを閉める

フロントパネルが閉まります。

●CD挿入口にゴミやホコリが入るのを防ぐためフロントパネルを閉めてください。

#### メモ

- CDをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース（ラジオやマルチCDなど）に切り換えることもできます。（※ **ここだけで① 14ページ**）
- CD挿入口には、CD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。
- ディスクをセットしたり、トラックが切り換わったりすると、ディスクタイトルや曲名を自動的にスクロール表示します。

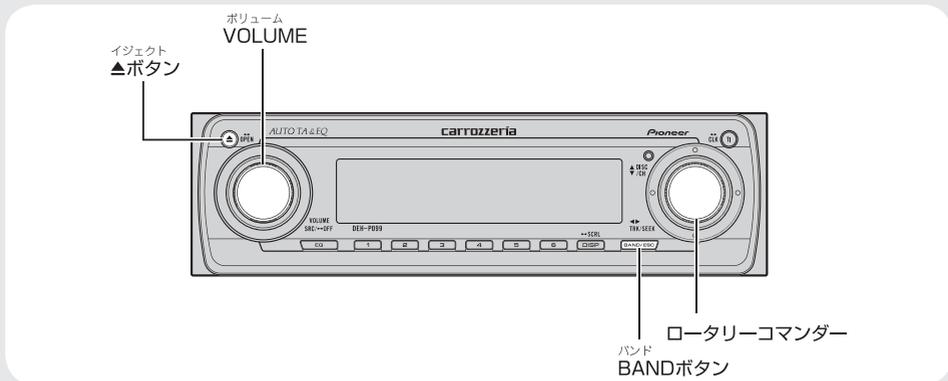
ここだけで

# 3

## WMA/MP3/WAV のふだんの操作

● CD-ROMを再生する ● フォルダーを選ぶ

ここだけの操作で、WMA、MP3およびWAVを聞くことができます。再生できるWMA、MP3およびWAVについて (※ 他92ページ)



### 1 CD-ROMを再生する

▲ボタンを押して、フロントパネルを開け、CD-ROMをCD挿入口に差し込む

タイトル面を上にして差し込みます。

↓

自動的にフロントパネルが閉まり、CD-ROMの再生が始まります。

### 3 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

ロータリーコマンダーを左右に操作する

右：次の曲を選ぶとき (または早送り)  
左：前の曲を選ぶとき (または早戻し)

選曲と早送り/早戻しの使い分け	
聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し*1	0.5秒以上押し続けている間

● WMA/MP3/WAVファイルを早送り/早戻ししているときは、音声は出力されません。

\*1 選曲方法をラフサーチに設定した場合は、10曲飛びに選曲します。

(※ WMA/MP3/WAV 34ページ)

### 2 聞きたいフォルダーを選ぶ

ロータリーコマンダーを上下に操作する

上：次のフォルダーを選ぶとき  
下：前のフォルダーを選ぶとき

● BANDボタンを2秒以上押し、フォルダー01 (ROOT)に戻ります。ただし、フォルダー01 (ROOT)にファイルがない場合は、次のフォルダーから再生が始まります。

## ⚠ 注意

フロントパネルを開けたままで使用しない

フロントパネルを開けたままでは使用しないでください。万一、事故が起きた場合、開けたままのフロントパネルに当たるとケガの原因となります。

**禁止**

- 曲を選ぶ
- 早送り / 早戻しをする
- 音量を調節する
- CD-ROM を取り出す

フォルダーサーチ / トラックサーチ / 早送り / 早戻し / 音量調節

ここだけ読めば  
すぐ使えます



MP3(WMA/WAV)表示 再生経過時間 曲番号

## 4 音量を調節する

### VOLUMEを回す

右回し：大きくするとき

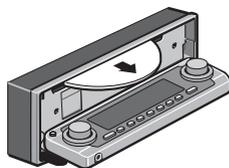
左回し：小さくするとき

- 音量は、0～40の範囲で調節できます。

## 5 CD-ROMを取り出して CD-ROM再生をやめる

### ▲ボタンを押す

自動的にフロントパネルが開きCD-ROMが出てきます。



- 出てきたCD-ROMはすぐに取り出して、保管してください。

### ▲ボタンを押して、フロントパネルを閉める

フロントパネルが閉まります。

- CD挿入口にゴミやホコリが入るのを防ぐためフロントパネルを開けてください。

### メモ

- CD-ROMをセットしたまま電源をOFFにしたり、他のソース（ラジオやマルチCDなど）に切り換えることもできます。（※ **ここだけで① 14ページ**）
- CD挿入口には、CD以外のものを絶対に入れないでください。故障の原因となります。
- CD-ROMを挿入すると、ファイル形式を読みとる間、“Format read”が表示されます。
- 文字情報が収録されたWMA/MP3/WAVファイルを再生すると、ファイル名を自動的にスクロール表示します。
- VBR（可変ビットレート）で録音されたファイルを早送り/早戻しすると、再生経過時間が正しく表示されないことがあります。

### WMA/MP3/WAVと音楽データの切り換えについて

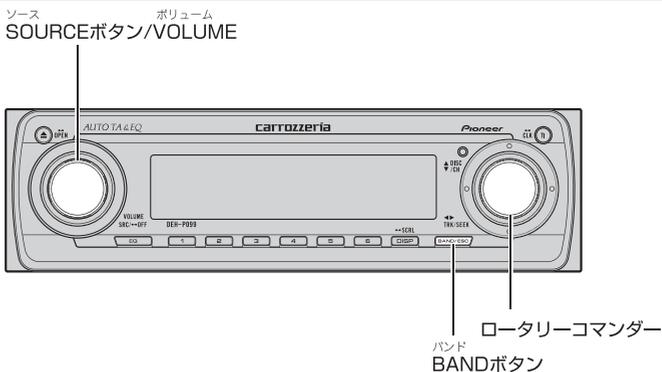
- WMA/MP3/WAVファイルと、音楽データが混在しているディスクの場合、BANDボタンを押して、WMA/MP3/WAVファイルと、音楽データを切り換えて再生することができます。WMA/MP3/WAVファイルと、音楽データを切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。

ここだけで

# 4

## ラジオのふだんの操作 ● バンドを選ぶ ● 放送局を選ぶ

ここだけの操作で、ラジオを聞くことができます。



### 1 ソースをラジオにする

#### SOURCEボタンを押す

ラジオを受信します。

- ステレオ放送を受信すると、ステレオ表示が点灯します。

### 2 バンドを選ぶ

#### BANDボタンを押す

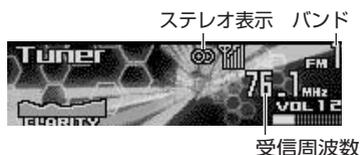
ボタンを押すごとに、次のようにバンドが切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2 → FM1 に戻る

- バンドごとに放送局を6局ずつ記憶できます。(※ ラジオ① ④ 38、39ページ)
- バンド1とバンド2を切り換えて使うことでより多くの放送局を記憶できます。例えば、バンド1にはふだんよく聞く放送局を記憶させておきます。旅行先など、どんな放送局があるのか知らない地域に行ったときに、バンド2に切り換えてBSMを使うと、バンド1に記憶させた放送局はそのままお使いになれます。

## ● 音量を調節する

バンド切り換え / 選局 / 音量調節



ここだけ読めば  
すぐ使えます

### 3 放送局を選局する

#### ロータリーコマンドを左右に操作する

右：高い周波数の放送局を選局するとき  
左：低い周波数の放送局を選局するとき

#### 選局方法の使い分け

手動選局(1ステップずつ)	0.5秒未満
自動選局	0.5秒以上

- 0.5秒以上押し続けている間、途中の放送局をとばすことができます。ボタンを離したところから自動選局を開始します。
- 電波の強い放送局を選局するには、自動選局を、電波の弱い放送局を選局するには、手動選局をおすすめします。

### 4 音量を調節する

#### VOLUMEを回す

右回し：大きくするとき  
左回し：小さくするとき

- 音量は、0～40の範囲で調節できます。

### 5 ラジオの受信をやめる

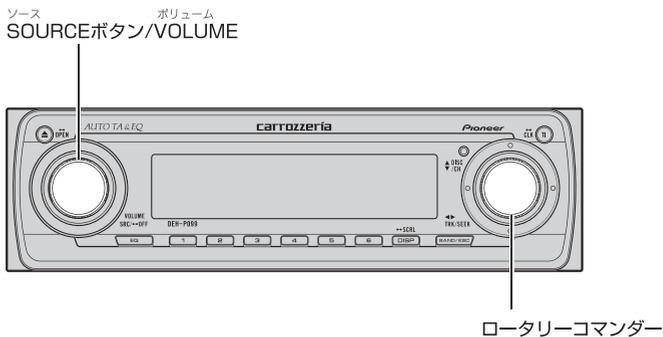
他のソースに切り換えるか、電源OFFにする  
(14 ここだけで① 14ページ)

ここだけで

# 5

## マルチ CD のふだんの操作 ● CD を選ぶ ● 曲を選ぶ

ここだけの操作で、マルチCDプレーヤーでCDを聞くことができます。



### 1 ソースを マルチCDにする

**SOURCEボタンを押す**  
マルチCDの再生が始まります。

### 2 聞きたいCDを選ぶ

**ロータリーコマンドーを上下に操作する**  
上：次のCDを選ぶとき  
下：前のCDを選ぶとき

#### メモ

- マルチCDが準備動作（CDの有無の確認やCDの情報の読み込みなど）をしている場合があります。このとき、ソースをマルチCDに切り換えると“Ready”が表示されます。
- マルチCD再生中にマルチCDからマガジンを取り出すと、“No magazine”が表示されます。

## ● 早送り / 早戻しをする ● 音量を調節する

ディスクサーチ / トラックサーチ / 早送り / 早戻し / 音量調節



### 3 聞きたい曲を選ぶ ..... (または早送り/早戻し)

ロータリーコマンドを左右に操作する

右：次の曲を選ぶとき（または早送り）

左：前の曲を選ぶとき（または早戻し）

#### 選曲と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5秒以上押し 続けている間

### 4 音量を調節する .....

VOLUMEを回す

右回し：大きくするとき

左回し：小さくするとき

●音量は、0～40の範囲で調節できます。

### 5 マルチCD再生をやめる .....

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする  
(Ⓛ ここだけで① 14ページ)

ここだけ読めば  
すぐ使えます



ロータリーコマンド  
バンド  
BANDボタン  
ディスプレイ  
DISPLAYボタン

内蔵CD

# 1

## 聞きたい曲を直接選ぶ

ダイレクトサーチ

聞きたい曲を直接選ぶことができます。

### 1 曲番号入力画面を表示する

.....

リモコンのDIRECT ボタンを押す

### 2 聞きたい曲の番号を入力する

.....

リモコンの0~9のボタンを押す



### 3 聞きたい曲を再生する

.....

リモコンのDIRECT ボタンを押す

選んだ曲が再生されます。

#### メモ

- 曲番号入力画面は、約8秒間何も操作しないと自動的に解除されます。
- CLEARボタンを押すと、入力した番号を消去することができます。

内蔵CD

# 2

## モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

### 1 メインメニューにする

.....

ロータリーコマンドを押す

「FUNCTION」、「AUDIO」、「ENTERTAINMENT」が表示されます。

### 2 ファンクションモードにする

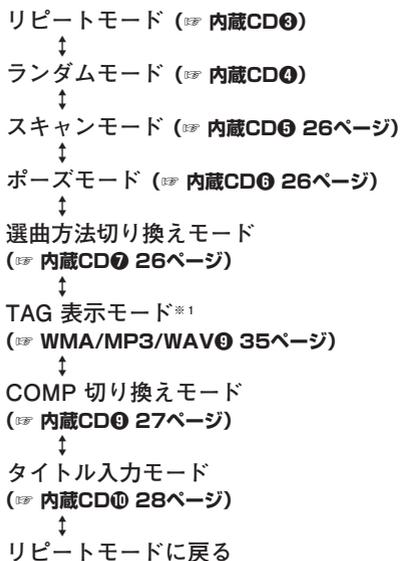
.....

ロータリーコマンドを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドを押す

### 3 ファンクションモードを切り換える

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに次のように切り換わります。



### 4 ファンクションモードを解除する

BAND ボタンを押す

#### メモ

- \*1 音楽データを再生している場合、TAG 表示をONにしても効果はありません。
- ファンクションモードは、約30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。ただし、タイトル入力モードを選んでいる場合、自動では解除されません。
  - 「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。(「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。)

内蔵CD

## 3

### 同じ曲を繰り返し聞く

トラックリピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

#### 1 リピートモードにする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ (内蔵CD⑧)

#### 2 リピート再生をONにする

ロータリーコマンドを押す  
ロータリーコマンドを押すごとにON/OFFします。



今聞いている曲を繰り返し再生します。

内蔵CD

## 4

### いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をCD プレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順 (ランダム) で再生することができます。

#### 1 ランダムモードにする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ (内蔵CD④)

#### 2 ランダム再生をONにする

ロータリーコマンドを押す  
ロータリーコマンドを押すごとにON/OFFします。



次の曲から、ランダムに選曲します。

内蔵CD

5

## 聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

### 1 スキャンモードにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(※ 内蔵CD② 24ページ)

### 2 スキャン再生を始める

ロータリーコマンドーを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

### 3 聞きたい曲が再生されたらスキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンモードのときにロータリーコマンドーを押す



#### メモ

- スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

内蔵CD

6

## CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

### 1 ポーズモードにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(※ 内蔵CD② 24ページ)

### 2 CD再生を一時停止する

ロータリーコマンドーを押す  
ロータリーコマンドーを押すごとにON/OFFします。



内蔵CD

7

## 選曲方法を切り換える

ロータリーコマンドーを左右に操作し続けたときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

### 1 選曲方法切り換えモードにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(※ 内蔵CD② 24ページ)

### 2 選曲方法を選ぶ

ロータリーコマンドーを押す  
ロータリーコマンドーを押すごとに次のように切り換わります。



FF/REV (早送り/早戻し) → ROUGH (ラフサーチ) → FF/REVに戻る

内蔵CD

8

## 10曲飛びに選曲する

ラフサーチ

10曲以上収録されているディスクの場合、10曲飛びに選曲することができます。

### 1 選曲方法切り換えモードにして ラフサーチを選ぶ

(☞ 内蔵CD⑦)

### 2 聞きたい曲を選ぶ

ロータリーコマンドを左右に0.5秒以上操作する

右：10曲先の曲を選ぶとき  
左：10曲前の曲を選ぶとき



曲番号

#### メモ

- 10曲以下のディスクでは、ラフサーチを行うと、最初の曲と最後の曲を選曲します。ラフサーチ後に残りの曲が10曲以下になった場合も同様になります。

内蔵CD

9

## CDの音質を調節する

COMP/BMX

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、残響音を補正することができます。

#### COMPについて

COMPとは、Compression (コンプレッション) の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

#### BMXについて

音楽の残響音を補正し、自然な広がりを持った音質に改善する機能です。WMA/MP3などの残響音の成分を補正し、本来の音質を再現することができます。

### 1 COMP 切り換えモードにする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ  
(☞ 内蔵CD⑩ 24ページ)

### 2 機能を選ぶ

ロータリーコマンドを押す  
ロータリーコマンドを押すごとに次のように切り換わります。



OFF → COMP 1 (コンプレッション 1) → COMP 2 (コンプレッション 2) → OFF → BMX 1 → BMX 2 → 最初のOFFに戻る

#### メモ

- COMP、BMXともに1より2の方が効果が大きくなります。

内蔵CD  
**10**

## CDのタイトルを表示させる

ディスクタイトル表示

CDにタイトルを入力することができます。また、入力したタイトルはディスクトレイに表示されます。

### タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。タイトルを入力しておく、CD再生時に入力したタイトルが表示されます。

**タイトルの記憶のしかたは、マルチCDと同じです。** (※ マルチCD⑩ 50ページ)

- タイトルは、10文字まで入力できます。
- 内蔵CDのタイトルは、48枚分の記憶ができます。
- 48枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。
- タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを取り出しても消えません。
- タイトルを記憶させたCDをマルチCDにセットしたときは、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。
- マルチCDを組み合わせると、最大100枚分のタイトルを記憶することができます。
- タイトル入力機能のないマルチCDを組み合わせると、タイトル入力することができなくなります。

内蔵CD  
**11**

## タイトル表示を切り換える

タイトル表示/タイトルスクロール

「CD TEXT」(※ はじめに⑩ 10ページ)再生中に、トラックタイトルのほかにディスクタイトルやディスクアーティスト名を表示させることができます。全角で7文字、半角で14文字まで一度に表示することができます。また、隠れている文字をスクロール表示で見することもできます。

### タイトル表示について

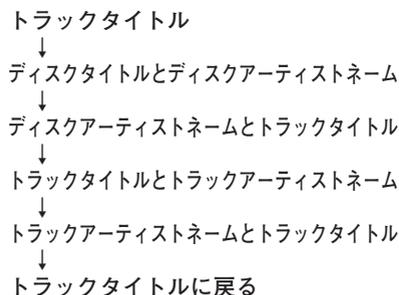
本機はカナやアルファベットなどの表示だけでなく、ひらがなや漢字などの表示にも対応しています。「CD TEXT」に漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

### 表示切り換え

## 1 表示を切り換える

### DISPLAY ボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



### メモ

- トラックアーティスト名(歌手名)などが収録されていないCDで表示を切り換えると、空白になります。

## 1 隠れているタイトルを表示する

DISPLAY ボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されます。

### メモ

- エバースクロール (便利な機能 87ページ) をON にしている場合、タイトルを継続的にスクロール表示します。

## 曲名を見て聞きたい曲をさがす

トラックリスト

「CD TEXT」再生中に、曲名の一覧(トラックリスト)を見ながら聞きたい曲を選ぶことができます。

## 1 トラックリストモードにする

ロータリーコマンドを回す



## 2 聞きたい曲名を表示する

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに曲名が切り換わります。

## 3 聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲が反転表示されているときに、ロータリーコマンドを押す  
選んだ曲が再生されます。

## 4 トラックリストモードを解除する

BANDボタンを押す

### メモ

- 「CD TEXT」に、曲名が収録されていないときは、「No title」が表示されます。
- ロータリーコマンドを上下に操作して聞きたい曲名を表示することもできます。



ロータリーコマンドー  
バンド  
BANDボタン  
ディスプレイ  
DISPLAYボタン

WMA/  
MP3/WAV

1

## 聞きたい曲を直接選ぶ

ダイレクトサーチ

今聞いているフォルダー内で、聞きたい曲を直接選ぶことができます。

### 1 曲番号入力画面を表示する

リモコンのDIRECTボタンを押す

### 2 聞きたい曲の番号を入力する

リモコンの0～9のボタンを押す



### 3 聞きたい曲を再生する

リモコンのDIRECTボタンを押す

選んだ曲が再生されます。

#### メモ

- 曲番号入力画面は、約8秒間何も操作しないと自動的に解除されます。
- CLEARボタンを押すと、入力した番号を消去することができます。

WMA/  
MP3/WAV

2

## モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

### 1 メインメニューにする

ロータリーコマンドーを押す

「FUNCTION」、「AUDIO」、「ENTERTAINMENT」が表示されます。

### 2 ファンクションモードにする

ロータリーコマンドーを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドーを押す

### 3 ファンクションモードを切り換える

ロータリーコマンドナーを回す

ロータリーコマンドナーを回すごとに次のように切り換わります。

リピートモード

(☞ WMA/MP3/WAV③)



ランダムモード

(☞ WMA/MP3/WAV④ 32ページ)



スキャンモード

(☞ WMA/MP3/WAV⑤ 32ページ)



ポーズモード

(☞ WMA/MP3/WAV⑥ 33ページ)



選曲方法切り換えモード

(☞ WMA/MP3/WAV⑦ 34ページ)



TAG表示モード

(☞ WMA/MP3/WAV⑧ 35ページ)



COMP切り換えモード

(☞ WMA/MP3/WAV⑩ 35ページ)



リピートモードに戻る

### 4 ファンクションモードを解除する

BANDボタンを押す

#### メモ

- ファンクションモードは、約30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

WMA/  
MP3/WAV  
3

## 同じ曲やフォルダーを繰り返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1つのフォルダーを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

#### 再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

表示	リピート再生の内容
Track	再生中の曲を繰り返し再生します。
Folder	再生中のフォルダーを繰り返し再生します。
Disc	本機にセットされているディスクを通して再生します。(通常は、このモードにしておきます。)

### 1 リピートモードにする

ロータリーコマンドナーを操作して選ぶ  
(☞ WMA/MP3/WAV③)

### 2 再生範囲を切り換える

ロータリーコマンドナーを押す  
ロータリーコマンドナーを押すごとに次のように切り換わります。



Track (トラックリピート)  
→ Folder (フォルダーリピート)  
→ Disc (ディスクリピート)  
→ Trackに戻る

WMA/MP3/WAV

## 4

## いつもと違う曲順で聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違う曲順（ランダム）で再生することができます。

## 1 リpeatモードにして再生範囲を選ぶ

（※ WMA/MP3/WAV 31ページ）

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

## 2 ランダムモードにする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ  
（※ WMA/MP3/WAV 30ページ）

## 3 ランダム再生をONにする

ロータリーコマンドを押す  
ロータリーコマンドを押すごとにON/OFFします。



次の曲から、ランダムに選曲します。

## メモ

- トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わり、ランダム再生します。

WMA/MP3/WAV

## 5

## 聞きたい曲やフォルダーをさがす

スキャン再生

今聞いているフォルダーの、曲の始めの部分だけを約10秒間ずつ次々に聞くことができます。また、すべてのフォルダーの、1曲目の始めの部分だけを次々に聞くこともできます。

## 1 リpeatモードにして再生範囲を選ぶ

（※ WMA/MP3/WAV 31ページ）

### ■聞きたい曲をさがすとき （トラックスキャン再生）

再生範囲をフォルダーリピートに切り換えます。再生中のフォルダーの全曲を、約10秒ずつ再生することができます。

### ■聞きたいフォルダーをさがすとき （フォルダースキャン再生）

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。ディスク内のすべてのフォルダーの1曲目だけを、約10秒ずつ再生することができます。

## 2 スキャンモードにする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ  
（※ WMA/MP3/WAV 30ページ）

## 3 スキャン再生を始める

ロータリーコマンドを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

## 4 聞きたい曲（フォルダー）が再生されたらスキャン再生をOFFにする

### 確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンモードのときにロータリーコマンドを押す



### メモ

- スキャン再生を始めた曲（またはフォルダー）まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がフォルダーリピートに切り換わり、スキャン再生します。

WMA/  
MP3/WAV

## 6

## WMA/MP3/WAV再生を一時停止する

ポーズ

WMA/MP3/WAV再生を一時停止することができます。

### 1 ポーズモードにする

.....

ロータリーコマンドを操作して選ぶ  
(☞ WMA/MP3/WAV② 30ページ)

### 2 WMA/MP3/WAV再生を一時停止する

.....

ロータリーコマンドを押す

ロータリーコマンドを押すごとにON/OFFします。



WMA/  
MP3/WAV

7

## 選曲方法を切り換える

ロータリーコマンドを左右に操作し続けたときに、早送り/早戻しにするか、10曲飛びに選曲するラフサーチにするかを選ぶことができます。

## 1 選曲方法切り換えモードにする

.....

ロータリーコマンドを操作して選ぶ  
(※ WMA/MP3/WAV③ 30ページ)

## 2 選曲方法を選ぶ

.....

ロータリーコマンドを押す  
ロータリーコマンドを押すごとに次のように切り換わります。



FF/REV (早送り/早戻し) →ROUGH  
(ラフサーチ) →FF/REVに戻る

WMA/  
MP3/WAV

8

## フォルダー内の曲を10曲飛びに選曲する

ラフサーチ

10曲以上収録されているフォルダーの場合、10曲飛びに選曲することができます。

## 1 選曲方法切り換えモードにしてラフサーチを選ぶ

.....

(※ WMA/MP3/WAV⑦)

## 2 聞きたい曲を選ぶ

.....

ロータリーコマンドを左右に0.5秒以上操作する

右：10曲先の曲を選ぶとき  
左：10曲前の曲を選ぶとき



曲番号

## メモ

- 10曲以下のフォルダーでは、ラフサーチを行うと、最初の曲と最後の曲を選曲します。ラフサーチ後に残りの曲が10曲以下になった場合も同様になります。

TAG表示を  
ON/OFFする

トラックタイトルやアーティストネームなどの文字情報を収録したMP3/WMAディスクを再生している場合、ID3 TagやWMA tagの表示をON/OFFすることができます。

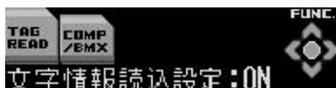
- ID3 tagのVer1.0およびVer1.1の場合、ID3 tagの表示をOFFにすると、ONにしている場合に比べ、曲を切り換えたときに再生が始まるまでの時間が短くなります。

## 1 TAG表示モードにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(☞ WMA/MP3/WAV 30ページ)

## 2 TAG表示をONにする

ロータリーコマンドーを押す  
ロータリーコマンドーを押すごとにON/OFFします。



## メモ

- TAG表示をONにすると、文字情報を読み込むために、聞いている曲の始めに戻ります。

WMA/MP3/WAV  
の音質を調節する

COMP/BMX

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、残響音を補正することができます。

## COMPについて

COMPとは、Compression (コンプレッション)の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

## BMXについて

音楽の残響音を補正し、自然な広がりを持った音質に改善する機能です。WMA/MP3などの残響音の成分を補正し、本来の音質を再現することができます。

## 1 COMP切り換えモードにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(☞ WMA/MP3/WAV 30ページ)

## 2 機能を選ぶ

ロータリーコマンドーを押す  
ロータリーコマンドーを押すごとに次のように切り換わります。



OFF → COMP 1 (コンプレッション 1) → COMP 2 (コンプレッション 2) → OFF → BMX 1 → BMX 2 → 最初のOFFに戻る

## メモ

- COMP、BMXともに1より2の方が効果が大きくなります。

## タイトル表示を切り換える

タイトル表示/タイトルスクロール

ファイル名のほかにトラックタイトルやアルバムタイトルを表示させることができます。全角で7文字、半角で14文字まで一度に表示することができます。また、隠れている文字をスクロール表示で見することもできます。

## 表示切り換え

## 1 表示を切り換える

## ■ DISPLAYボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

## ■ WMA/MP3の場合

ファイルネーム  
↓  
フォルダーネームとファイルネーム  
↓  
アルバムタイトルとトラックタイトル  
↓  
トラックタイトルとアーティストネーム  
↓  
アーティストネームとビットレート  
↓  
ファイルネームに戻る

## ■ WAVの場合

ファイルネーム  
↓  
フォルダーネームとファイルネーム  
↓  
サンプリング周波数  
↓  
ファイルネームに戻る

## メモ

- アーティストネーム（歌手名）などが収録されていないCD-ROMで表示を切り換えると、空白になります。
- WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバムタイトルなどの文字情報が正しく表示されないことがあります。
- VBR（可変ビットレート）で記録されたMP3ファイルを再生中に、表示をビットレート表示に切り換えた場合、“VBR”と表示されます。
- VBR（可変ビットレート）で記録されたWMAファイルを再生中に、表示をビットレート表示に切り換えた場合、平均ビットレートが表示されます。
- TAG表示（**WMA/MP3/WAV** 35ページ）をOFFにしている場合、トラックタイトルやアーティストネーム、アルバムタイトルには切り換わりません。

## 隠れている文字を表示する

## 1 隠れているタイトルを表示する

## ■ DISPLAYボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されます。

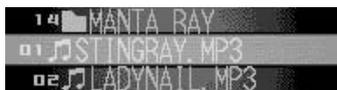
## メモ

- エバースクロール（**便利な機能** 87ページ）をONにしている場合、タイトルを継続的にスクロール表示します。

ファイルネーム（フォルダーネーム）の一覧（ファイルリスト）を見ながら聞きたい曲を選ぶことができます。

## 1 ファイルリストモードにする

ロータリーコマンドを回す



## 2 聞きたいフォルダーネーム（ファイルネーム）を表示する

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとにフォルダーネーム（ファイルネーム）が切り換わります。

## 3 聞きたい曲が入っているフォルダーのファイルネームを表示する

フォルダーネームが反転表示されているときに、ロータリーコマンドを右に操作する。選んだフォルダーのファイルネーム（フォルダーネーム）のリスト表示になります。

## 4 聞きたいファイルネーム（フォルダーネーム）を表示する

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとにファイルネーム（フォルダーネーム）が切り換わります。

## 5 聞きたい曲を選ぶ

聞きたいファイルネーム（フォルダーネーム）が反転表示されているときに、ロータリーコマンドを押す。選んだ曲が再生されます。

## 6 ファイルリストモードを解除する

BANDボタンを押す

### メモ

- ロータリーコマンドを上下に操作して聞きたい曲名を表示することもできます。
- ロータリーコマンドを左に操作すると、1つ前のリスト（1階層上のフォルダー）に戻ります。
- フォルダーネームが反転表示されているときに、ロータリーコマンドを押すと、そのフォルダー内の最初の曲が再生されます。
- ファイルリストは、必ず「ROOT」から表示されます。
- フォルダー内に再生できるファイルがない場合、「NO FILES」が表示されます。
- リスト表示中のフォルダー番号は、実際の番号とは異なります。



1～6のボタン

ロータリーコマンドー

 BAND  
 BANDボタン  
 ディスプレイ  
 DISPLAYボタン

ラジオ

1

## 放送局を1局ずつ記憶させる

プリセットメモリー

1～6のボタンに、お好みの放送局を、1局ずつ手で記憶させることができます。

### 1 記憶させるバンドを選ぶ

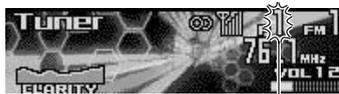
BANDボタンを押す  
 (☞ ここだけで④ 20ページ)

### 2 記憶させたい放送局を選局する

ロータリーコマンドーを左右に操作する  
 (☞ ここだけで④ 21ページ)

### 3 記憶させる

1～6のボタンの1つを2秒以上押す



押したボタンの番号（記憶番号）が点滅します。



記憶が終わると点滅が終わり、押したボタンに受信中の放送局が記憶されます。

#### メモ

- 記憶させた放送局を呼び出すには (☞ ラジオ②)
- ステーションリストモードでも放送局を記憶させることができます。(☞ ラジオ⑥ 40ページ)

ラジオ

2

## 記憶させた放送局を呼び出す

プリセットチューニング

記憶させた放送局は、簡単に呼び出すことができます。

### 1 記憶させたバンドを選ぶ

BANDボタンを押す  
 (☞ ここだけで④ 20ページ)

### 2 記憶させた放送局を呼び出す

- 記憶させた放送局を順番に呼び出す  
ロータリーコマンドーを上下に操作する  
上：次の記憶番号の放送局を呼び出すとき  
下：前の記憶番号の放送局を呼び出すとき

- 記憶させた放送局を直接呼び出す  
1～6のボタンの1つを押す



受信中の記憶番号

## モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

## 1 メインメニューにする

ロータリーコマンドーを押す  
「FUNCTION」, 「AUDIO」, 「ENTERTAINMENT」  
が表示されます。

## 2 ファンクションモードにする

ロータリーコマンドーを回して  
「FUNCTION」を選び、ロータリーコマ  
ンドーを押す

3 ファンクションモードを切り換  
える

ロータリーコマンドーを回す  
ロータリーコマンドーを回すごとに次  
のように切り換わります。

BSMモード (ラジオ④)

↓  
放送局名選択モード  
(ラジオ⑥ 40ページ)

↓  
BSMモードに戻る

## 4 ファンクションモードを解除する

BANDボタンを押す

## メモ

- ファンクションモードは、約30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。

複数の放送局を自  
動的に記憶させる

BSM

受信状態の良い放送局をさがして、自動  
的に1～6のボタンに記憶させることが  
できます。

## 1 記憶させるバンドを選ぶ

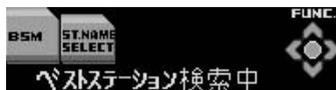
BANDボタンを押す  
(ラジオ② 20ページ)

## 2 BSMモードにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(ラジオ③)

## 3 BSMを始める

ロータリーコマンドーを押す  
ロータリーコマンドーを押すごとに  
ON/OFFします。



記憶が終わるとステーションリス  
トモードに切り換わり、1のボタンに記  
憶した放送局を受信します。

## 4 聞きたい放送局名を表示する

ロータリーコマンドーを回す  
ロータリーコマンドーを回すごとに放  
送局名が切り換わります。

## 5 聞きたい放送局を選ぶ

聞きたい放送局が反転表示されてい  
るときに、ロータリーコマンドーを押す  
選んだ放送局を受信します。



## メモ

- 受信状態の良い放送局が、6局より少ないときは、前の記憶が残ることがあります。
- BSMとは、Best Stations Memory (ベストステーションズメモリー) の略です。
- 記憶させた放送局を呼び出すには (ラジオ⑩)

ラジオ

5

## 放送局名を見て聞きたい放送局を呼び出す

ステーションリスト

1～6のボタンに記憶させた放送局を、放送局名の一覧（ステーションリスト）の中から選ぶことができます。

## 1 ステーションリストモードにする

ロータリーコマンドーを回す



## 2 聞きたい放送局名を表示する

ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとに放送局名が切り換わります。

## 3 聞きたい放送局を選ぶ

聞きたい放送局が反転表示されているときに、ロータリーコマンドーを押す  
選んだ放送局を受信します。

## 4 ステーションリストモードを解除する

BANDボタンを押す

## メモ

- 表示されている放送局名が、受信している放送局と異なる場合、放送局名を変更することができます。  
(☞ ラジオ④)
- 放送局名が登録されていない放送局の場合、“No data”が表示されます。
- ロータリーコマンドーを2秒以上押し、反転表示されている記憶番号に現在受信している放送局を記憶させることができます。

ラジオ

6

## 放送局名を選ぶ

放送局名選択

受信している放送局に合わせて、表示する放送局名を選ぶことができます。

## 放送局名について

同じ周波数でも、地域によって受信する放送局は異なります。表示されている放送局名が受信している放送局名と異なる場合、放送局名を変更することができます。

## 注意

本機に登録されていない放送局名は選べません。

## 1 実際の放送局名と表示が異なる場合、放送局名選択モードにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(☞ ラジオ④ 39ページ)

## 注意

現在受信している周波数以外の放送局名を変更することはできません。別の周波数の放送局名を変更したい場合、その周波数を受信して (☞ ここだけで④ 21ページ) から放送局名選択モードにしてください。

## 2 放送局名を選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作する  
右：次の放送局名を選ぶとき  
左：前の放送局名を選ぶとき



### 3 選んだ放送局名に変更する

ロータリーコマンドを押す  
選んだ放送局名に変更されます。

#### メモ

- 選んだ周波数に該当する放送局名が登録されていないと、“No data”と表示されます。
- 放送局名を表示させたくないときは、全て空白の表示を選んでください。
- パイオニア製のFMモジュレータータイプのマルチCDをお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせて、放送局名を“FM M-CD”に変更して表示することができます。
- パイオニア製のTVをFMモジュレーターでお使いの方は、モジュレーター周波数に合わせて、放送局名を“TVsound”に変更して表示することができます。

ラジオ

## 7

### 放送局名を表示させる

放送局名表示

放送局名選択モードで選んだ放送局名を表示させることができます。

### 1 放送局名を表示する

#### DISPLAYボタンを押す

ボタンを押すごとに放送局名表示をON/OFFします。



#### メモ

- 音量を調節すると、約4秒間音量が表示されます。



1～6のボタン

ロータリーコマンダー

バンド  
BANDボタン  
ディスプレイ  
DISPLAYボタン

マルチCD

1

## 聞きたいCDを 直接選ぶ

ダイレクトサーチ

聞きたいCDにワンタッチで切り換えることができます。

### 1 聞きたいCDを選ぶ

1～6のボタンを押す

2秒未満：1～6枚目のCDを選ぶとき  
2秒以上：7～12枚目のCDを選ぶとき



CD番号

マルチCD

2

## 聞きたい曲を直接 選ぶ

ダイレクトサーチ

今聞いているCD内で、聞きたい曲を直接選ぶことができます。

### 1 曲番号入力画面を表示する

リモコンのDIRECTボタンを押す

### 2 聞きたい曲の番号を入力する

リモコンの0～9のボタンを押す



### 3 聞きたい曲を再生する

リモコンのDIRECTボタンを押す

選んだ曲が再生されます。

#### メモ

- 曲番号入力画面は、約8秒間何も操作しないと自動的に解除されます。
- CLEARボタンを押すと、入力した番号を消去することができます。

## モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

## 1 メインメニューにする

ロータリーコマンドーを押す

「FUNCTION」、「AUDIO」、「ENTERTAINMENT」が表示されます。

## 2 ファンクションモードにする

ロータリーコマンドーを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドーを押す

## 3 ファンクションモードを切り換える

ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとに次のように切り換わります。

リピートモード

( マルチCD④ 44ページ)



ランダムモード

( マルチCD⑤ 44ページ)



スキャンモード

( マルチCD⑥ 45ページ)



ポーズモード

( マルチCD⑦ 45ページ)



COMP切り換えモード

( マルチCD⑩ 49ページ)



ITS再生モード

( マルチCD⑨ 47ページ)



ITS入力モード

( マルチCD⑧ 46ページ)



タイトル入力モード

( マルチCD⑫ 50ページ)



リピートモードに戻る

## 4 ファンクションモードを解除する

BANDボタンを押す

### メモ

- ファンクションモードは、約30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。ただし、タイトル入力モード、ITS入力モードを選んでいる場合、自動では解除されません。
- 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P 670」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。「CD TEXT」にあらかじめ収録されているタイトルは変更できません。

マルチCD

## 4

同じ曲やCDを繰り返し  
返し聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞いたり、1枚のCDを繰り返し聞くなど、繰り返し再生する範囲を選ぶことができます。

## 再生範囲について

再生範囲（繰り返し聞く範囲）は、次の中から選ぶことができます。

表示	リピート再生の内容
Track	再生中の曲を繰り返し再生します。
Disc	再生中のCDを繰り返し再生します。
MCD	マルチCDにセットされているすべてのCDを通して再生します。 (通常はこのモードにしておきます。)

## 1 リピートモードにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(☞ マルチCD④ 43ページ)

## 2 再生範囲を切り換える

ロータリーコマンドーを押す  
ロータリーコマンドーを押すごとに次のように切り換わります。



Track (トラックリピート)  
→Disc (ディスクリピート)  
→MCD (マガジンリピート)  
→Trackに戻る

マルチCD

## 5

いつもと違う曲順  
で聞く

ランダム再生

選曲をマルチCDにまかせて、いつもと違う曲順（ランダム）で再生することができます。

1 リピートモードにして再生範囲  
を選ぶ (☞ マルチCD④)

選んだ再生範囲内でランダム再生が行われます。

## 2 ランダムモードにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(☞ マルチCD④ 43ページ)

## 3 ランダム再生をONにする

ロータリーコマンドーを押す  
ロータリーコマンドーを押すごとにON/OFFします。



次の曲から、ランダムに選曲します。

## メモ

- トラックリピートのときに、ランダム再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切りかわりランダム再生します。

## 聞きたい曲やCDをさがす

トラックスキャン再生/ディスクスキャン再生

今聞いているCDの、曲の始めの部分だけを約10秒間ずつ徐々に聞くことができます。また、すべてのCDの、1曲目の始めの部分だけを徐々に聞くこともできます。

### 1 リpeatモードにして再生範囲を選ぶ (※ マルチCD④)

#### ■聞きたい曲をさがすとき (トラックスキャン再生)

再生範囲をディスクリピートに切り換えます。再生中のCDの全曲を、約10秒ずつ再生することができます。

#### ■聞きたいCDをさがすとき (ディスクスキャン再生)

再生範囲をマガジンリピートに切り換えます。マルチCD内のすべてのCDの1曲目だけを、約10秒ずつ再生することができます。

### 2 スキャンモードにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ (※ マルチCD④ 43ページ)

### 3 スキャン再生を始める

ロータリーコマンドーを押す



曲の始めの約10秒間が徐々に再生されます。

### 4 聞きたい曲 (CD) が再生されたらスキャン再生をOFFにする

#### 確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順2の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンモードのときにロータリーコマンドーを押す



#### メモ

- スキャン再生を始めた曲 (またはCD) まで戻ると、スキャン再生は解除されます。
- トラックリピートのときに、スキャン再生をONにすると、再生範囲がディスクリピートに切り換わりトラックスキャン再生します。

## CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

### 1 ポーズモードにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ (※ マルチCD④ 43ページ)

### 2 CD再生を一時停止する

ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとにON/OFFします。



マルチCD

## 8

## 聞きたい曲だけ記憶させておく

ITS記憶

記憶させた曲だけ再生する (※ マルチCD⑨) ために、あらかじめ聞きたい曲をマルチCDに記憶させておきます。

## ITSについて

ITSとは、Instant Track Selection (インスタントトラックセレクション) の略です。

ITSは、聞きたい曲だけを記憶させておき、それを再生する (※ マルチCD⑨) 機能です。

- 曲の記憶はCDごとに行われます。CDを入れ替えても、そのCDの記憶は消えません。
- CD 1枚につき99曲まで記憶することができます。(「CDX-P1250」「CDX-P650」以前に発売されたマルチCDでは、記憶できる曲が24曲目までになります。)
- ITSは、タイトル (※ マルチCD⑩ 50ページ) と合わせてCD100枚分の記憶ができます。
- 100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

## 1 記憶させたいCDを再生する

ロータリーコマンドを上下に操作する  
(※ ここだけで⑥ 22ページ)

## 2 ITS入力モードにする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ  
(※ マルチCD⑩ 43ページ)

## 3 記憶させたい曲を選ぶ

ロータリーコマンドを左右に操作する  
(※ ここだけで⑥ 23ページ)

## 4 記憶させる

ロータリーコマンドを上下に操作する



約2秒間表示され、記憶したことを知らせます。

## 5 ITS入力モードを解除する

BANDボタンを押す

## 記憶させた曲だけ再生する

ITS再生

ITS記憶 (☞ マルチCD⑨) で記憶させた曲だけを再生することができます。

### 1 リpeatモードにして再生範囲を選ぶ

選んだ再生範囲内でITS再生が行われます。

### 2 ITS再生モードにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(☞ マルチCD⑨ 43ページ)

### 3 ITS再生をONにする

ロータリーコマンドーを押す  
ロータリーコマンドーを押すごとにON/OFFします。



ITS再生が始まり、記憶させた曲だけが再生されます。

#### メモ

- 手順1で選んだ再生範囲内に、記憶させた曲がない場合は、“ITS empty”が約2秒間表示されて、ITS再生は行われません。

## 記憶させた曲を1曲ずつ記憶から消す

ITS消去 (1曲ごと)

記憶させた曲を1曲ずつ消すことができます。

### 1 ITS再生をONにする

(☞ マルチCD⑨)

### 2 消去したい曲を再生する

ロータリーコマンドーを左右に操作する  
(☞ ここだけで⑥ 23ページ)

### 3 ITS入力モードにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(☞ マルチCD⑨ 43ページ)

### 4 消去する

ロータリーコマンドーを下に操作する



次に記憶されている曲

再生していた曲が記憶から消去され、次に記憶されている曲が再生されます。

### 5 ITS入力モードを解除する

BANDボタンを押す

#### メモ

- 現在の再生範囲内に記憶させた曲がなくなった場合は、“Memory deleted”が約2秒間表示されて、ITS再生がOFFになります。

マルチCD

11

**記憶させた曲をCD  
ごとに記憶から消す**

ITS消去 (CDごと)

記憶させた曲をCDごとに消すことができます。

**1 消去したいCDを再生する**

ロータリーコマンドを上下に操作する

(※ ここだけで② 22ページ)

ITS再生がONになっているときは、ITS再生をOFFにしてください。(※ マ

ルチCD④ 47ページ)

**2 ITS入力モードにする**

ロータリーコマンドを操作して選ぶ

(※ マルチCD④ 43ページ)

**3 消去する**

ロータリーコマンドを下に操作する



約2秒間表示され、消去したことを知らせます。

**4 ITS入力モードを解除する**

BANDボタンを押す

大きな音と小さな音の音量差を小さくしたり、低音域を押し上げたりすることができます。

チェック◆COMP/DBE機能の付いたマルチCDプレーヤーで操作できます。

### COMPについて

COMPとは、Compression (コンプレッション) の略です。大きな音を抑え、小さな音を押し上げて、大きな音と小さな音の音量差を小さくする機能です。この機能は、小さな音が聞きとりにくいようなときにお使いになると便利です。

### DBEについて

DBEとは、Dynamic Bass Emphasis (ダイナミックバスエンファシス) の略です。DBEは、車内で不足しがちな低音域を押し上げる機能です。

## 1 COMP切り換えモードにする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(※ マルチCD④ 43ページ)



現在のCOMP/DBEの状態が表示されます。

### ご注意

COMP/DBE機能のないマルチCDを組み合わせたときは、“No COMP”が表示されて、操作ができません。

## 2 機能を選ぶ

### ロータリーコマンドーを押す

ロータリーコマンドーを押すごとに次のように切り換わります。

OFF → COMP 1 (コンプレッション 1) → COMP 2 (コンプレッション 2)  
→ OFF → DBE 1 → DBE 2 → OFF  
に戻る

### メモ

- COMP、DBEともに1より2の方が効果が大きくなります。

## CDのタイトルを表示させる

タイトル表示

CDにタイトルを入力することができます。また、入力したタイトルはディスプレイに表示されます。

## タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、ディスプレイに表示させる機能です。タイトル入力しておく、CD再生時に入力したタイトルが表示されます。

CDにタイトルをつけるとディスクリスト(☞ マルチCD⑩)で聞きたいCDをさがすこともできます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCD(「CDX-P670」など)では、「CD TEXT」にあらかじめ収録されているCDタイトルと同様にディスクリスト(☞ マルチCD⑩)をすることができます。

- タイトルは10文字まで入力できます。
- 記憶はCDごとに行われます。CDを入れ換えても、そのCDの記憶は消えません。
- タイトルは、ITS (☞ マルチCD⑧ 46ページ)と合わせてCD100枚分の記憶ができます。
- 100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

## 1 タイトルを入力したいCDを再生する

ロータリーコマンドを上下に操作する  
(☞ ここだけで⑥ 22ページ)

## 2 タイトル入力モードにする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ  
(☞ マルチCD⑧ 43ページ)

### ご注意

「CD TEXT」に対応しているマルチCD(「CDX-P670」など)で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードには切り換わりません。「CD TEXT」に収録されているCDタイトルは変更できません。

## 3 タイトルを入力する

### ■入力する位置を選ぶ

ロータリーコマンドを左右に操作する

右：右に移動させるとき  
左：左に移動させるとき



入力する位置でカーソルが点滅します。10文字まで入力できます。

### ■入力する文字を選ぶ

ロータリーコマンドを上下に操作する

上：次の文字を選ぶとき  
下：前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

押すボタン	選べる文字
1ボタン (1ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 (a~z)、空白 ( _ ) アルファベットの大文字 (A~Z)、数字 (0~9)、記号 (!、#、&など) 空白 ( _ )
2ボタン	数字 (0~9)、記号 (!、#、&など)、空白 ( _ )
3ボタン (3ボタンを押すごとに切り換わります。)	カタカナ (ア~ン)、音引き (ー)、空白 ( _ ) 拗促音 (ア、ヨ、ツなど)、濁点、半濁点、空白 ( _ )

## 4 入力が終わったら10文字目を点滅させる



余ったところを空白にして、10文字目を点滅させます。

## 5 入力したタイトルを記憶させる

ロータリーコマンドーを右に操作する



入力位置の点滅が終わり、入力したタイトルが記憶されます。

## 6 タイトル入力モードを解除する

BANDボタンを押す

### メモ

- タイトル入力中（文字が点滅しているとき）にBANDボタンを押すと、タイトル入力モードが途中で解除されます。（この場合、入力中のタイトルは記憶されません。）

マルチCD

# 14

## タイトルを見て聞きたいCDをさがす

ディスクリスト

CDのタイトル一覧（ディスクリスト）を見ながら、聞きたいCDを選ぶことができます。

## 1 ディスクリストモードにする

ロータリーコマンドーを回す



## 2 聞きたいCDタイトルを表示する

ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとにCDタイトルが切り換わります。

## 3 聞きたいCDを選ぶ

聞きたいCDが反転表示されているときに、ロータリーコマンドーを押す  
選んだCDが再生されます。

## 4 ディスクリストモードを解除する

BANDボタンを押す

### メモ

- ロータリーコマンドーを上下に操作して聞きたいCDタイトルを表示することもできます。
- マガジンにCDがセットされていないときは、“No disc”が表示されます。また、タイトルが記憶されていないCDを入れたときは、“No title”が表示されます。

マルチCD

15

## タイトル表示を切り換える

タイトル表示/タイトルスクロール

「CD TEXT」(※ はじめに⑩ 10ページ)に対応しているマルチCD(「CDX-P670」など)で「CD TEXT」再生中に、トラックタイトルのほかにディスクタイトルやディスクアーティスト名を表示させることができます。全角で7文字、半角で14文字まで一度に表示することができます。また、隠れている文字をスクロール表示で見ることができます。

チェック◆「CD TEXT」に対応しているマルチCD(「CDX-P670」など)の機能です。

## タイトル表示について

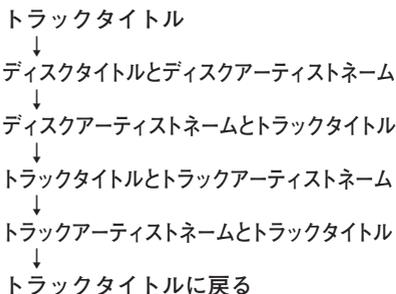
本機はカナやアルファベットなどの表示だけでなく、ひらがなや漢字などの表示にも対応しています。「CD TEXT」に漢字などの文字情報が収録されている場合でも、本機ではそのまま表示することができます。

## 表示切り換え

## 1 表示を切り換える

## DISPLAYボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。



## メモ

- トラックアーティスト名(歌手名)などが収録されていないCDで表示を切り換えると、空白になります。

## 隠れている文字を表示する

## 1 隠れているタイトルを表示する

## DISPLAYボタンを2秒以上押す



隠れている文字が順番に表示されます。

## メモ

- エバースクロール(※ 便利な機能⑥ 87ページ)をONにしている場合、タイトルを継続的にスクロール表示します。

# 曲名を見て聞きたい 曲をさがす

トラックリスト

ディスクリスト (P. マルチCD 51ページ) で「CD TEXT」を選んだ場合、曲名の一覧 (トラックリスト) を見ながら聞きたい曲を選ぶことができます。

チェック◆ 「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDX-P670」など) の機能です。

## 1 トラックリストモードにする

ディスクリストモードにして、「CD TEXT」を選ぶ

(P. マルチCD 51ページ)



### ご注意

「CD TEXT」に対応しているマルチCD (「CDXP670」など) で「CD TEXT」を選んだときだけ、トラックリストモードに切り換わります。

## 2 聞きたい曲名を表示する

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに曲名が切り換わります。

## 3 聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲が反転表示されているときに、

ロータリーコマンドを押す

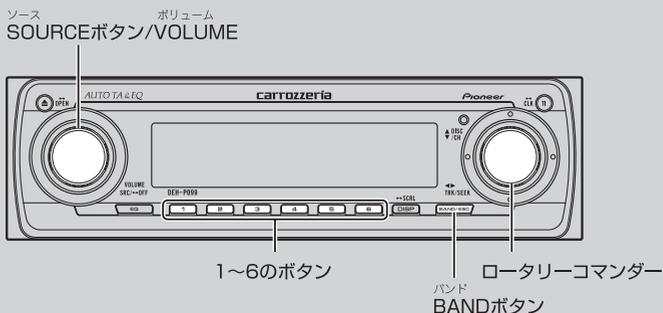
選んだ曲が再生されます。

## 4 トラックリストモードを解除する

BANDボタンを押す

### メモ

- 「CD TEXT」に、曲名が収録されていないときは、「No title」が表示されます。
- ロータリーコマンドを上下に操作して聞きたい曲名を表示することもできます。



## テレビについて

本機でのテレビの基本的な操作方法を説明しています。テレビの機能について、詳しくは組み合わせたテレビの取扱説明書をご覧ください。

- 本機では、記憶させたチャンネルを一覧表示して見たいチャンネルを選ぶこともできます。(※テレビ⑩)

### 画面例



テレビ

# 1

## テレビのふだんの操作

ここだけの操作で、テレビを見ることができます。

### 1 ソースをテレビにする

SOURCEボタンを押す

### 2 バンドを選ぶ

BANDボタンを押す

### 3 チャンネルを選局する

ロータリーコマンダーを左右に操作する

### 4 音量を調節する

VOLUMEを回す

### 5 テレビの受信をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする

### メモ

- 1～6のボタンでお好みのチャンネルの記憶や呼び出しを行うことができます。(※ラジオ① ② 38ページ)

## ファンクションモードの操作

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

### 1 メインメニューにする

ロータリーコマンドを押す  
[FUNCTION]、[AUDIO]、[ENTERTAINMENT]  
が表示されます。

### 2 ファンクションモードにする

ロータリーコマンドを回して  
[FUNCTION] を選び、ロータリーコマ  
ンドを押す

### 3 操作したいモードを選ぶ

ロータリーコマンドを回す  
ロータリーコマンドを回すごとに次  
のように切り換わります。  
BSSMモード↔マルチプレックスモード  
↔BSSMモードに戻る

### 4 選んだモードを操作する

**BSSMモード**  
ロータリーコマンドを押すごとに  
ON/OFFします。BSSMが終了すると、  
自動的にチャンネルリストモードに切  
り換わります。  
**マルチプレックスモード**  
ロータリーコマンドを押すごとに次  
のように切り換わります。  
MAIN → SUB → MAIN+SUB →  
MAINに戻る

### 5 ファンクションモードを解除する

**BANDボタンを押す**

#### メモ

- ファンクションモードは、約30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。
- BSSMとは、Best Stations Sequential Memory (ベストステーションズシーケンシャルメモリー) の略です。

## チャンネル一覧から見たいチャンネルを呼び出す

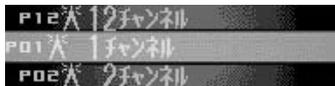
チャンネルリスト

記憶番号1～12に記憶させたチャンネルの一覧(チャンネルリスト)から見たいチャンネルを選ぶことができます。

チェック◆チャンネルリスト機能に対応しているテレビで操作できます。

### 1 チャンネルリストモードにする

ロータリーコマンドを回す



### 2 見たいチャンネルを表示する

ロータリーコマンドを回す  
ロータリーコマンドを回すごとに  
チャンネルが切り換わります。

### 3 見たいチャンネルを選ぶ

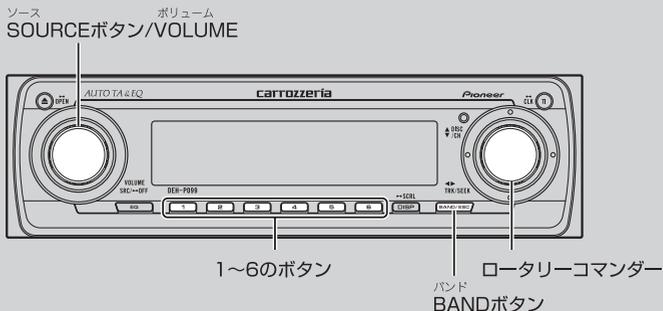
見たいチャンネルが反転表示されている  
ときに、ロータリーコマンドを押す  
選んだチャンネルを受信します。

### 4 チャンネルリストモードを解除する

**BANDボタンを押す**

#### メモ

- ロータリーコマンドを2秒以上押すと、反転表示されている記憶番号に現在受信しているチャンネルを記憶させることができます。



## DVDプレーヤーについて

本機でのDVDプレーヤー（例：マルチDVD「XDV-P9II」、1枚型DVD「SDV-P7」）の基本的な操作方法を説明しています。DVDプレーヤーの機能について、詳しくは組み合わせたDVDプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

### 画面例



DVD

# 1

## DVDのふだんの操作

ここだけの操作で、DVDプレーヤーでディスクを聞くことができます。

### 1 ソースをDVDにする

SOURCEボタンを押す

### 2 マルチDVDの場合、聞きたいディスクを選ぶ

ロータリーコマンダーを上下に操作する

### 3 聞きたいチャプター/トラックを選ぶ（または早送り/早戻し）

ロータリーコマンダーを左右に操作する

### 4 音量を調節する

VOLUMEを回す

### 5 DVDプレーヤーの再生をやめる

他のソースに切り換えるか、電源OFFにする

### メモ

- マルチDVDの場合、1～6のボタンで直接ディスクを選ぶこともできます。(※ マルチCD 42ページ)

## ファンクションモードの操作

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

### 1 メインメニューにする

ロータリーコマンドーを押す

「FUNCTION」、「AUDIO」、「ENTERTAINMENT」が表示されます。

### 2 ファンクションモードにする

ロータリーコマンドーを回して「FUNCTION」を選び、ロータリーコマンドーを押す

### 3 操作したいモードを選ぶ

ロータリーコマンドーを回す

ロータリーコマンドーを回すごとに次のように切り換わります。

**DVD、ビデオCD再生時**

リピートモード ↔ ポーズモード ↔ リピートモードに戻る

**CD再生時**

リピートモード ↔ ランダムモード ↔ スキャンモード ↔ ポーズモード ↔ タイトル入力モード ↔ ITS再生モード ↔ ITS入力モード ↔ リピートモードに戻る

### 4 選んだモードを操作する

**リピートモード (DVD再生時)**

ロータリーコマンドーを押すごとに次のように切り換わります。

Disc → Chapter → Title → Discに戻る

**リピートモード (ビデオCD、CD再生時)**

ロータリーコマンドーを押すごとにON/OFFします。

**ランダムモード**

ロータリーコマンドーを押すごとにON/OFFします。

**スキャンモード**

ロータリーコマンドーを押すごとにON/OFFします。

**ポーズモード**

ロータリーコマンドーを押すごとにON/OFFします。

**タイトル入力モード**

タイトル入力モードの操作方法はマルチCDと同じです。(※ マルチCD⑩ 50ページ)

**ITS再生モード**

ITS再生モードの操作方法はマルチCDと同じです。(※ マルチCD⑩ 47ページ)

**ITS入力モード**

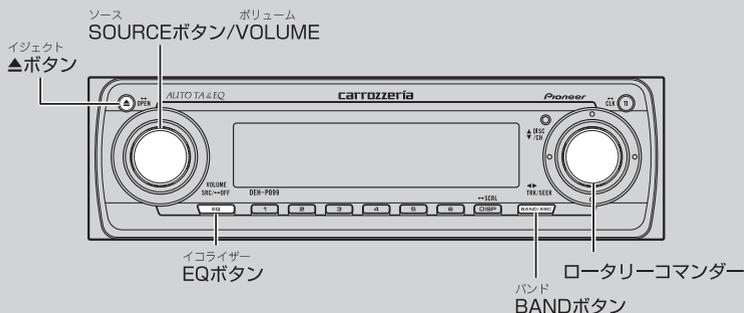
ITS入力モードの操作方法はマルチCDと同じです。(※ マルチCD⑩ 46ページ)

### 5 ファンクションモードを解除する

**BANDボタンを押す**

#### メモ

- ファンクションモードは、約30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。ただし、タイトル入力モード、ITS入力モードを選んでいる場合、自動では解除されません。



## 音の調節

## 1

## DSPについて

本機には、3-wayネットワークモード (NW) とスタンダードモード (STD) の2つの動作モードがあります。お好みに合わせて、モードを切り換えることができます。初期設定は、スタンダードモードになっています。(※ はじめに⑤ 12ページ)

## 動作モードについて

- 3-wayネットワークモード (NW) は、高・中・低音域のそれぞれの音域 (バンド) を専用のアンプとスピーカーで再生する3-wayマルチアンプ・マルチスピーカーシステムを構築することができます。3-wayネットワークモードには、マルチアンプ・マルチスピーカーシステムに不可欠なネットワーク機能やタイムアライメント機能があり、各音域の設定条件を厳密にコントロールすることができます。
- スタンダードモード (STD) は、フロント・リアの4スピーカーシステムまたはフロント・リア・サブウーファーの6スピーカーシステムを構築することができます。また、スタンダードモードには、簡単にリアルな音場を再現することができるSFC機能があります。

## 動作モードのマークについて

この説明書では、説明を分かり易くするため、以下のマークを使用しています。

- **NW**: このマークは、3-wayネットワークモードにしかない機能および3-wayネットワークモードでの操作をあらわします。
- **STD**: このマークは、スタンダードモードにしかない機能およびスタンダードモードでの操作をあらわします。
- 何もマークが付いていない機能や操作は、2つのモードに共通して使用できます。

## メモ

- 車のバッテリー交換などで、本機に電源が供給されなくなると、本機のマイコンは初期状態に戻ります。この場合、本機に記憶させたオーディオの調節内容がすべて消去されてしまいます。オーディオの調節が終了したら、再設定に手間のかかる調節内容を記録しておくことをおすすめします。  
(※ その他⑤ 104ページ)
- 3-wayネットワークモードを選んでいる場合、Auto TA&EQを行うことはできません。

## オーディオ調節のポイント

心地よい音の空間を手軽に演出したり、お好みに合わせてきめ細かく調節することができます。

3-wayネットワークモード **NW** 便利な機能

次の順に設定や調節することで、きめ細かくお好みの音場を創り出すことができます。

- 音場の中心で聞く (POSI)
- 左右の音量バランスを調節する (BAL)
- タイムアライメントを調節する (TA2)
- ネットワークを調節する (NW1, NW2, NW3, NW4)
- イコライザーカーブを選ぶ
- イコライザーカーブを大まかに補正する (G.EQ1)
- イコライザーカーブを細かく調節する (G.EQ2)

次の機能は、お好みに合わせてお使いください。

- 音響効果をかける (BBE) **NW**
- 小音量時の音にメリハリをつける (LOUD)
- イメージに合った演奏会場を再現する (SFC)
- STD**
- 騒音に合わせて音量を変える (ASL)
- 各ソースの音量の違いをそろえる (SLA)

スタンダードモード **STD**

## — 手軽に心地よい音場を演出する —

次の機能は、車種によって異なる音響特性に合わせた音場の演出を手軽に調節することができます。

- イコライザーカーブを選ぶ
- 音場の中心で聞く (POSI)
- イコライザーカーブを大まかに補正する (G.EQ1)

## — きめ細かくお好みに合わせて調節する —

次の順に設定や調節をすることで、きめ細かくお好みの音場を創り出すことができます。

- 音場の中心で聞く (POSI)
- 前後左右の音量バランスを調節する (FAD/BAL)
- サブウーファーを使う (SW1, SW2, SW3)
- 低い音をスピーカーから出力させないようにする (F-HPF1, F-HPF2, R-HPF1, R-HPF2)
- オートタイムアライメント&イコライジングを行う
- イコライザーカーブを選ぶ
- イコライザーカーブを大まかに補正する (G.EQ1)
- イコライザーカーブを細かく調節する (G.EQ2)

## オーディオ調節モードの切り換えかた

音を調節するときは、オーディオ調節モードを切り換えて操作します。

## 1 メインメニューにする

ロータリーコマンドを押す

「FUNCTION」、「AUDIO」、「ENTERTAINMENT」が表示されます。

## 2 オーディオ調節モードにする

ロータリーコマンドを回して「AUDIO」を選び、ロータリーコマンドを押す

## 3 オーディオ調節モードを切り換える

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとにオーディオ調節モードが切り換わります。(切り換わり順は、選んだ動作モードによって異なります。詳しくは、右の各モード別の切り換わり順をご覧ください。)

## 4 オーディオ調節モードを解除する

BANDボタンを押す

## メモ

- オーディオ調節モードは、約30秒間何も操作しないと自動的に解除されます。ただし、イコライザー13バンド調節モード(G.EQ2)やタイムアライメントモード2(TA2)、ネットワークモード(NW1~NW4)を選んでいる場合、自動では解除されません。
- サブウーファーモード2(SW2)とサブウーファーモード3(SW3)は、サブウーファーモード1(SW1)をONにしているときだけ切り換わります。
- ラジオのFMを聞いているときは、SLAモード(SLA)には切り換わりません。

## 3-wayネットワークモードの場合

## NW

音量バランス調節モード (BAL)  
(※ 音の調節⑥ 62ページ)



ネットワークモード 1 (NW1)  
(※ 音の調節⑥ 66ページ)



ネットワークモード 2 (NW2)  
(※ 音の調節⑥ 66ページ)



ネットワークモード 3 (NW3)  
(※ 音の調節⑥ 66ページ)



ネットワークモード 4 (NW4)  
(※ 音の調節⑥ 66ページ)



リスニングポジションセクターモード (POS1) (※ 音の調節④)



タイムアライメントモード 1 (TA1)  
(※ 音の調節⑥ 63ページ)



タイムアライメントモード 2 (TA2)  
(※ 音の調節⑦ 63ページ)



ラウドネスモード (LOUD)  
(※ 音の調節⑩ 74ページ)



イコライザー調節モード (G.EQ1)  
(※ 音の調節⑩ 72ページ)



イコライザー 13バンド調節モード (G.EQ2)  
(※ 音の調節⑩ 72ページ)



BBEモード (BBE) (※ 音の調節⑩ 73ページ)



ASLモード (ASL) (※ 音の調節⑩ 75ページ)



SLAモード (SLA) (※ 音の調節⑩ 76ページ)



音量バランス調節モードに戻る

- 音量バランス調節モード (FAD/BAL)  
(②③ 音の調節⑥ 62ページ)
- ↓
- リスニングポジションセレクターモード  
(POSI) (②③ 音の調節④)
- ↓
- タイムアライメントモード 1 (TA1)  
(②③ 音の調節⑥ 63ページ)
- ↓
- タイムアライメントモード 2 (TA2)  
(②③ 音の調節⑦ 63ページ)
- ↓
- ラウドネスモード (LOUD)  
(②③ 音の調節⑩ 74ページ)
- ↓
- イコライザー調節モード (G.EQ1)  
(②③ 音の調節⑩ 72ページ)
- ↓
- イコライザー 13バンド調節モード(G.EQ2)  
(②③ 音の調節⑩ 72ページ)
- ↓
- サブウーファーモード 1 (SW1)  
(②③ 音の調節⑩ 68ページ)
- ↓
- サブウーファーモード 2 (SW2)  
(②③ 音の調節⑩ 68ページ)
- ↓
- サブウーファーモード 3 (SW3)  
(②③ 音の調節⑩ 68ページ)
- ↓
- ハイパスフィルターモード 1 (フロント)  
(F-HPF1) (②③ 音の調節⑩ 69ページ)
- ↓
- ハイパスフィルターモード 2 (フロント)  
(F-HPF2) (②③ 音の調節⑩ 69ページ)
- ↓
- ハイパスフィルターモード 1 (リア)  
(R-HPF1) (②③ 音の調節⑩ 69ページ)
- ↓
- ハイパスフィルターモード 2 (リア)  
(R-HPF2) (②③ 音の調節⑩ 69ページ)
- ↓
- SFCモード(SFC)(②③ 音の調節⑩ 74ページ)
- ↓
- オートイコライザーモード (AUTO-EQ)  
(②③ 音の調節⑩ 71ページ)
- ↓
- ASLモード(ASL)(②③ 音の調節⑩ 75ページ)
- ↓
- SLAモード(SLA)(②③ 音の調節⑩ 76ページ)
- ↓
- 音量バランス調節モードに戻る

乗車位置や人数に合わせて、聞く位置を選ぶことができます。(3-wayネットワークモードを選んでいる場合、“All seat”を選ぶことはできません。)

## 1 リスニングポジションセクターモード (POSI) にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(②③ 音の調節④)

## 2 乗車位置を選ぶ

ロータリーコマンドーを上下左右に操作する

ロータリーコマンドーを同じ方向に操作するごとにON/OFFします。

右 : Front Right

左 : Front Left

上 : Front Seat

下 : All seat

表示	乗車位置
Front Right	右ハンドル車に運転者のみがいるとき
Front Left	左ハンドル車に運転者のみがいるとき
Front Seat	同乗者が助手席にいるとき
All seat	同乗者が後部座席にいるとき

STD



選んだ乗車位置が表示されます。

## 前後左右の音量バランスを調節する

フェーダー バランス

前後左右のスピーカーの音量バランスを調節することができます。(3-wayネットワークモードでは、前後のバランス調節はできません。)

## NW

## 1 音量バランス調節モード(BAL)にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(④ 音の調節⑥ 60ページ)

## 2 左右の音量バランスを調節する

ロータリーコマンドーを左右に操作する  
右：右を強めるとき  
左：左を強めるとき



左右のバランスはL25 ~ R25の範囲で調節できます。

## STD

## 1 音量バランス調節モード(FAD/BAL)にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(④ 音の調節⑥ 60ページ)

## 2 音量バランスを調節する

■前後を調節する  
ロータリーコマンドーを上下に操作する  
上：前を強めるとき  
下：後ろを強めるとき



前後のバランスはF25 ~ R25の範囲で調節できます。

■左右を調節する  
ロータリーコマンドーを左右に操作する  
右：右を強めるとき  
左：左を強めるとき



左右のバランスはL25 ~ R25の範囲で調節できます。

## タイムアライメント を選ぶ

タイムアライメント

3種類のタイムアライメントの中から、お好みのタイムアライメントを選ぶことができます。

### タイムアライメントについて

タイムアライメントは、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を調節することで、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調節する機能です。

## 1 タイムアライメントモード1 (TA1) にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(☞ 音の調節⑩ 60ページ)

## 2 タイムアライメントを選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作する  
ロータリーコマンドーを左右に操作する  
ごとに次のように切り換わります。  
Initial ↔ Custom ↔ Auto TA ↔ TA  
OFF

表示	タイムアライメント
Initial	初期設定状態（ご購入直後の状態）
Custom	お好みに合わせて調節したもの
Auto TA	Auto TA&EQで作成したもの ( <small>☞</small> 音の調節⑫ 78ページ) <b>STD</b>



選んだタイムアライメントが表示されます。

### メモ

- Auto TA&EQを行っていないときは、“Auto TA”を選ぶことはできません。（“Auto TAを設定してください”と表示されます。）
- 3-wayネットワークモードを選んでいるときは、“Auto TA”には切り換わりません。

## タイムアライメント を調節する

タイムアライメント調節

厳密にタイムアライメントを調節することができます。

## 1 タイムアライメントモード1 (TA1) にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(☞ 音の調節⑩ 60ページ)

## 2 調節の元にするタイムアライメントを選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作して選ぶ (☞ 音の調節⑩)

## 3 タイムアライメントモード2 (TA2) にする

ロータリーコマンドーを右に回して選ぶ

### 確認

リスニングポジションセレクターモードで“Front Right”か“Front Left”を選んでいないと、タイムアライメントの調節をすることはできません。（“ポジションFL/FR選択して下さい”と表示されます。）

つづく→

## 4 各スピーカーの距離を調節する

### ■調節するスピーカーを選ぶ

ロータリーコマンドナーを左右に操作する  
ロータリーコマンドナーを左右に操作する  
ごとに次のように切り換わります。

#### NW

High L ↔ High R ↔ Mid R ↔ Mid L  
↔ Low L ↔ Low R

#### STD

Front L ↔ Front R ↔ Rear R ↔ Rear L  
↔ Sub. W (Subwoofer)

### ■距離を調節する

ロータリーコマンドナーを上下に操作する

上：距離を遠くするとき  
下：距離を近くするとき



0.0cm ~ 400.0cmの範囲で調節できます。

## 5 タイムアライメントモード2を解除する

BANDボタンを押す

### メモ

- タイムアライメントモード1 (TA1) でOFFを選んでいるときは、タイムアライメントモード2 (TA2) には切り換わりません。
- サブウーファーモード1 (SW1) をOFFにしているときは、“Sub. W” には、切り換わりません。

音の調節

# 8

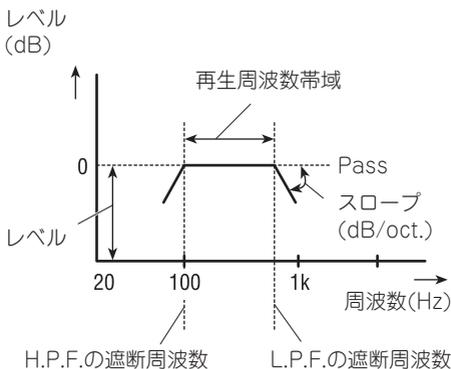
## ネットワークを調節する前に NW

### ネットワークについて

ネットワーク機能は、オーディオ信号を各音域ごとに分割し、それぞれの音域を各音域専用のスピーカーユニットで再生します。各スピーカーユニットの特性に合わせ、再生周波数帯域（ローパスフィルターやハイパスフィルター）やレベル、位相などを厳密に調節することができます。

### 調節項目

ネットワーク機能は、以下の項目の調節が可能です。接続した各スピーカーユニットの再生周波数帯域や特性に合うよう調節してください。



### 再生周波数帯域

ハイパスフィルター (H.P.F.) やローパスフィルター (L.P.F.) の遮断周波数調節は、各スピーカーユニットの再生周波数帯域を設定することができます。

- H.P.F.は、設定した周波数以下の周波数（低音域）をカットし、高い周波数だけを通すフィルターです。
- L.P.F.は、設定した周波数以上の周波数（高音域）をカットし、低い周波数だけを通すフィルターです。

## レベル

スピーカーユニット間の再生レベルを補正することができます。

## スロープ

H.P.F./L.P.F.のスロープ（フィルター特性の減衰量の傾き）調節は、スピーカーユニット間の音のつながりを調節することができます。

- スロープは、周波数が1オクターブ高く（または低く）なったときに、信号が何dB減衰するかをあらわす値です（単位：dB/oct.）。傾きを急にすると、信号が減衰する割合が大きくなります。

## 位相

各スピーカーユニットの入力信号に対する位相（正相/逆相）を切り換えることができます。スピーカー間の音のつながりが悪いときは、位相を切り換えてみてください。スピーカー間の音のつながりが良くなる場合があります。

## ネットワーク調節のポイント

### 遮断周波数調節のポイント

低音域スピーカーをリアトレイに設置した場合、“Low LPF”の遮断周波数を高く設定すると、低音が分離して後ろから聞こえてくるようになります。“Low LPF”の遮断周波数は、100Hz以下に設定することをお勧めします。

中音域や高音域のスピーカーは、低音域のスピーカーより耐入力が高く設定されているのが一般的です。“Mid HPF”や“High HPF”の遮断周波数を必要以上に低く設定すると、強い低音信号の入力によってスピーカーが破損する恐れがありますので、ご注意ください。

### レベル調節のポイント

中音域には、多くの楽器の基本周波数が含まれています。最初に中音域のレベル調節を行い、高音域、低音域の順でレベルを調節することをお勧めします。

## スロープ調節のポイント

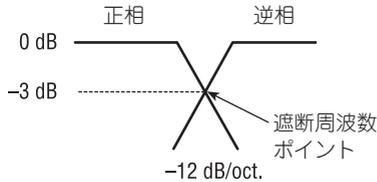
スロープの絶対値を小さく（傾きをゆるやかに）すると、隣り合うスピーカーユニット間の干渉によって周波数特性が影響を受けやすくなります。

スロープの絶対値を大きく（傾きを急に）すると、スピーカーユニット間の音のつながりが悪くなり、音が分離して聞こえるようになります。

スロープを0 dB/oct.(Pass)に設定すると、オーディオ信号はフィルター回路を回避するため、フィルター回路は効果がなくなります。

## 位相調節のポイント

両側のフィルター共に遮断周波数ポイントのスロープ設定値を-12 dB/oct.に設定した場合、フィルターの遮断周波数において位相が180度反転します。この場合、位相を反転すると、音のつながりが良くなります。



## スピーカーユニットにミュートをかける

各スピーカーユニット（フィルター）をミュートすることができます。ミュートしたスピーカーユニット（フィルター）からは、音が出なくなります。

- 選んだスピーカーユニット（フィルター）をミュートした場合、“MUTE”が点滅し、何も調節できなくなります。
- ミュートしたスピーカーユニット（フィルター）以外のスピーカーユニット（フィルター）は調節することができます。

## 1 ネットワークモード1（NW1）にする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ  
（※ 音の調節⑩ 60ページ）

## 2 ミュートするスピーカーユニット（フィルター）を選ぶ

ロータリーコマンドを左右に操作する  
ロータリーコマンドを左右に操作することに次のように切り換わります。  
Low LPF（低音域スピーカーのLPF） ↔  
Mid HPF（中音域スピーカーのHPF） ↔  
Mid LPF（中音域スピーカーのLPF） ↔  
High HPF（高音域スピーカーのHPF）

## 3 選んだスピーカーユニット（フィルター）をミュートする

ロータリーコマンドを2秒以上押し  
もう一度ロータリーコマンドを押すとOFFになります。



“MUTE”が点滅します。

## 音の調節

## 9

## ネットワークを調節する

ネットワーク調節

各スピーカーユニットの再生周波数帯域やレベル、位相などを調節することで、各スピーカーユニットの特性に合わせた厳密な設定をすることができます。

## 1 ネットワークモード1（NW1）にする

ロータリーコマンドを操作して選ぶ  
（※ 音の調節⑩ 60ページ）

## 2 調節するスピーカーユニット（フィルター）を選ぶ

ロータリーコマンドを左右に操作する  
ロータリーコマンドを左右に操作することに次のように切り換わります。  
Low LPF（低音域スピーカーのLPF） ↔  
Mid HPF（中音域スピーカーのHPF） ↔  
Mid LPF（中音域スピーカーのLPF） ↔  
High HPF（高音域スピーカーのHPF）

## 3 ネットワークモード2（NW2）にする

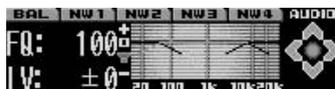
ロータリーコマンドを右に回して選ぶ

## 4 遮断周波数を調節する

ロータリーコマンドを左右に操作する  
ロータリーコマンドを左右に操作することに次のように切り換わります。

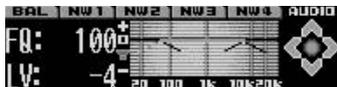
■Low LPF、Mid HPFを選んだとき  
31.5 ↔ 40 ↔ 50 ↔ 63 ↔ 80 ↔ 100  
↔ 125 ↔ 160 ↔ 200（Hz）

■Mid LPF、High HPFを選んだとき  
1.6 ↔ 2 ↔ 2.5 ↔ 3.15 ↔ 4 ↔ 5 ↔  
6.3 ↔ 8 ↔ 10 ↔ 12.5 ↔ 16（kHz）



## 5 レベルを調節する

ロータリーコマンドを上下に操作する



±0 dB ~ -24 dBの範囲で調節できます。（“Low LPF”を選んでいる場合は、+6 dB ~ -24 dBの範囲で調節できます。）

## 6 ネットワークモード3 (NW3) にする

ロータリーコマンドを右に回して選ぶ

## 7 スロープを調節する

ロータリーコマンドを左右に操作する  
ロータリーコマンドを左右に操作すると次のように切り換わります。

### ■Low LPFを選んだとき

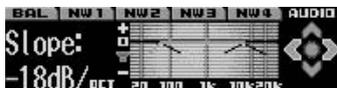
-36 ↔ -30 ↔ -24 ↔ -18  
↔ -12 (dB/oct.)

### ■Mid HPF、Mid LPFを選んだとき

-24 ↔ -18 ↔ -12 ↔ -6  
↔ Pass (0) (dB/oct.)

### ■High HPFを選んだとき

-24 ↔ -18 ↔ -12 ↔ -6 (dB/oct.)



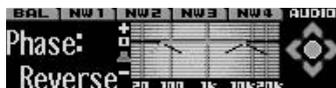
## 8 ネットワークモード4 (NW4) にする

ロータリーコマンドを右に回して選ぶ

## 9 位相を切り換える

ロータリーコマンドを押す

ロータリーコマンドを押すごとに位相が切り換わります。



正相 (Normal)、逆相 (Reverse) が表示されます。

## 10 ネットワーク調節モードを解除する

BANDボタンを押す

## サブウーファーを使う

サブウーファー

本機では、RCA出力端子に接続したサブウーファーの調節を行うことができます。（この機能は、初期設定でONになっています。）

## 位相切り換えについて

サブウーファーから出力される音の中には、フロント/リアスピーカーから出力される音と同じ周波数帯域のものが含まれています。車内条件により、これらの音の位相どうしが反転（干渉）すると、その周波数帯域が打ち消し合ってしまうことがあります。この現象を防ぐものが、サブウーファーの位相切り換えです。車内条件によって、位相の正相（フロント/リアスピーカーと同時に出力される）が良いか、逆相（フロント/リアスピーカーとタイミングをずらして出力される）が良いかを選んで設定してください。

## カットオフ周波数について

選んだ周波数より低い周波数の音域がサブウーファーから出力されます。

### 1 サブウーファーモード1 (SW1) にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(※ 音の調節⑥ 60ページ)

### 2 サブウーファーをONにする

ロータリーコマンドーを押す  
 ロータリーコマンドーを押すごとにON/OFFします。



### 3 位相を切り換える

ロータリーコマンドーを左右に操作する  
 右：Normal（正相）  
 左：Reverse（逆相）



### 4 サブウーファーモード2 (SW2) にする

ロータリーコマンドーを右に回して選ぶ

## 5 カットオフ周波数とレベルを調節する

### ■周波数を選ぶ

ロータリーコマンドを左右に操作する  
右：高い周波数を選ぶとき  
左：低い周波数を選ぶとき



50、63、80、100、125、160、200 (Hz) の中から選ぶことができます。

### ■レベルを調節する

ロータリーコマンドを上下に操作する  
上：レベルを大きくするとき  
下：レベルを小さくするとき



レベルは-24 ~ +6 の範囲で調節できます。

## 6 サブウーファーモード3 (SW3) にする

ロータリーコマンドを右に回して選ぶ

## 7 スロープを選ぶ

ロータリーコマンドを左右に操作する  
ロータリーコマンドを左右に操作するごとに次のように切り換わります。  
-18 ↔ -12 ↔ -6 (dB/oct)



### メモ

- サブウーファーをOFFにしたときは、サブウーファーモード2 (SW2) とサブウーファーモード3 (SW3) には、切り換わりません。

音の調節

# 11

## 低い音を出力しないようにする STD

ハイパスフィルター (HPF)

選んだ周波数より低い周波数の音が各スピーカーから出力されないようになります。フロントスピーカー、リアスピーカーのそれぞれでお好みの周波数を設定することができます。(スロープを0 dB/oct. (Pass) に設定すると、オーディオ信号はフィルター回路を回避するため、フィルター回路は効果がなくなります。)

### — ハイパスフィルター (HPF) について —

ハイパスフィルターは、設定した周波数から下の音域(低域)をカットして、高域を通すフィルターです。ハイパスフィルターをONにすることにより、サブウーファーとの音のつながりを調節することができます。

### — カットオフ周波数について —

選んだ周波数より高い音域がフロントまたはリアスピーカーから出力されます。

### — スロープについて —

スロープ(減衰の傾き)を調節することにより、サブウーファーとフロント/リアスピーカーの音のつながりを調整することができます。

## スピーカーにミュートをかける

フロントスピーカーとリアスピーカーをそれぞれミュートすることができます。ミュートしたスピーカーからは、音が出なくなります。

- スピーカーをミュートした場合、“MUTE”が点灯し、何も調節できなくなります。

### 1 ハイパスフィルターモード1 (F-HPF1、R-HPF1) にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(※音の調節④ 60ページ)

F-HPF1: フロントスピーカーをミュートするとき

R-HPF1: リアスピーカーをミュートするとき

### 2 選んだスピーカーをミュートする

ロータリーコマンドーを2秒以上押し  
もう一度ロータリーコマンドーを押すとOFFになります。



“MUTE”が表示されます。

## ハイパスフィルターを設定する

### 1 ハイパスフィルターモード1 (F-HPF1、R-HPF1) にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(※音の調節④ 60ページ)

F-HPF1: フロントスピーカーを調節するとき

R-HPF1: リアスピーカーを調節するとき

## 2 スロープを調節する

ロータリーコマンドーを左右に操作する  
ロータリーコマンドーを左右に操作するごとに次のように切り換わります。  
-12 ↔ -6 ↔ Pass (0) (dB/oct.)



### 3 ハイパスフィルターモード2 (F-HPF2、R-HPF2) にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(※音の調節④ 60ページ)

F-HPF2: フロントスピーカーを調節するとき

R-HPF2: リアスピーカーを調節するとき

### 4 カットオフ周波数とレベルを調節する

#### ■周波数を選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作する  
右: 高い周波数を選ぶとき  
左: 低い周波数を選ぶとき



50、63、80、100、125、160、200 (Hz) の中から選ぶことができます。

#### ■レベルを調節する

ロータリーコマンドーを上下に操作する  
上: レベルを大きくするとき  
下: レベルを小さくするとき



レベルは-24 ~ ±0 (dB) の範囲で調節できます。

## オートイコライザーをON/OFFする **STD**

オートイコライザー

Auto TA&EQ (音の調節② 78ページ) で作成したオートイコライザーカーブのON/OFFをすることができます。

### 1 オートイコライザーモード (AUTO-EQ) にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(音の調節④ 60ページ)

### 2 オートイコライザーをON/OFFする

ロータリーコマンドーを押す  
ロータリーコマンドーを押すごとにON/OFFします。



#### メモ

- Auto TA&EQ (音の調節② 78ページ) を行っていないときは、オートイコライザーモードの操作はできません。(“Auto EQを設定してください”と表示されます。)

## イコライザーカーブを選ぶ

あらかじめ用意されたイコライザーカーブの中から好みのイコライザーカーブを選ぶことができます。

#### CUSTOM1について

“CUSTOM1”と“CUSTOM2”は、お好みに合わせて調節することができます。(音の調節⑥ 72ページ)

#### FLATについて

イコライザーによる音の補正はされていません。設定したイコライザーカーブと交互に切り換えることで、設定したイコライザーカーブの効果を確認することができます。

### 1 イコライザーカーブを選ぶ

#### EQボタンを押す

ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

CLARITY → RHYTHM → SENSITIVE → NARROW → FLAT → CUSTOM1 → CUSTOM2 → CLARITYに戻る



選んだイコライザーカーブが表示されます。

#### メモ

- 交通情報 (便利な機能④ 81ページ) を受信しているときは、イコライザーカーブを選ぶことはできません。

音の調節

## 14

イコライザーカーブ  
を大まかに補正する

ニュアンスコントロール

あらかじめ用意されたイコライザーカーブを調節することで、お好みの音質をつくることができます。

## 1 イコライザー調節モード (G.EQ1) にする

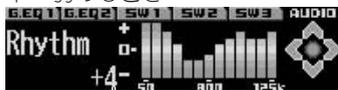
ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(☞ 音の調節⑩ 60ページ)

## 2 調節したいイコライザーカーブ を選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作する  
ロータリーコマンドーを左右に操作する  
ごとに次のように切り換わります。  
Clarity ↔ Rhythm ↔ Sensitiv  
(SENSITIVE) ↔ Narrow ↔ Flat ↔  
Custom1 ↔ Custom2

## 3 イコライザーカーブを調節する

ロータリーコマンドーを上下に操作する  
上：強めるとき  
下：弱めるとき



-6 ~ +6 の範囲で調節できます。

## メモ

- “FLAT” や全ての周波数が “0” に設定されているイコライザーカーブでは、ニュアンスコントロールすることはできません。

音の調節

## 15

イコライザーカーブ  
を細かく調節する

イコライザー調節

お好みに合わせて、イコライザーカーブの周波数レベルを細かく調節することができます。

## CUSTOM1について

“CUSTOM1”には、お好みに合わせて調節したイコライザーカーブがソースごとに記憶されます。(内蔵CDとマルチCD、External1とExternal2は、同じ設定になります) “CUSTOM2”以外のカーブを選んでいるときに調節すると、“CUSTOM1”に記憶されます。

## CUSTOM2について

“CUSTOM2”は、すべてのソースに共通したイコライザーカーブで、お好みに合わせて調節することができます。

“CUSTOM2”を選んでいるときに調節すると、調節したカーブが新しい“CUSTOM2”として記憶されます。

## 1 調節したいイコライザーカーブ を選ぶ (☞ 音の調節⑩ 71ページ)

## 2 イコライザー 13バンド調節 モード (G.EQ2) にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(☞ 音の調節⑩ 60ページ)

### 3 各周波数ごとのレベルを調節する

#### ■周波数を選ぶ

ロータリーコマンドナーを左右に操作する

右：高い周波数を選ぶとき

左：低い周波数を選ぶとき



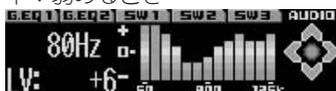
50、80、125、200、315、500、800、1.25k、2k、3.15k、5k、8k、12.5k (Hz) の中から選ぶことができます。

#### ■レベルを調節する

ロータリーコマンドナーを上下に操作する

上：強めるとき

下：弱めるとき



-6～+6の範囲で調節できます。調節したイコライザーカーブは、そのまま保存されます。

### 4 イコライザー 13バンド調節

#### モードを解除する

BANDボタンを押す

音の調節

# 16

## 音響効果をかける

NW

BBE

お好みに合わせてBBEの音響効果をかけることができます。

### BBEについて

BBEは、音楽再生時に発生する高調波成分の遅延、振幅の狂いを位相補正と高域ブーストを組み合わせて修復することで、極めて原音に近い再生音にすることができます。このため、鮮明度が高く、ライブ演奏に近い自然な臨場感を再現することができます。

### 1 BBEモード (BBE) にする

ロータリーコマンドナーを操作して選ぶ

(音の調節 60ページ)

### 2 BBEをONにする

ロータリーコマンドナーを押す

ロータリーコマンドナーを押すごとにON/OFFします。

### 3 BBEのレベルを調節する

ロータリーコマンドナーを上下に操作する

上：レベルを大きくするとき

下：レベルを小さくするとき



レベルは-4～+4の範囲で調節できます。

#### メモ

- この製品はBBEサウンド・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。この製品は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボスは、BBE Sound, Inc.の登録商標です。

音の調節

17

小音量時の音に  
メリハリをつける

ラウドネス

小さな音量で聞いているときの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

## 1 ラウドネスモード (LOUD) に する

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(※ 音の調節⑥ 60ページ)

## 2 ラウドネスをONにする

ロータリーコマンドーを押す  
ロータリーコマンドーを押すごとに  
ON/OFFします。



音の調節

18

イメージに合った演奏  
会場を再現する

SFC/BBE

SFCで実際にその演奏会場にいるかのようなリアルな音場を再現することができます。また、BBEではレベルの調節をすることができます。

### SFCについて

SFCとはSound Field Control (サウンドフィールドコントロール) の略です。SFCは、車室内にリアルな音場を再現することができます。StudioやClubなど3つの音場空間を再現するプログラムが用意されています。

### BBEについて

BBEは、音楽再生時に発生する高調波成分の遅延、振幅の狂いを位相補正と高域ブーストを組み合わせて修復することで、極めて原音に近い再生音にすることができます。このため、鮮明度が高く、ライブ演奏に近い自然な臨場感を再現することができます。

## 1 SFCモード (SFC) にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(※ 音の調節⑥ 60ページ)

## 2 音場プログラムを選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作する  
ロータリーコマンドーを左右に操作する  
ごとに次のように切り換わります。  
Studio ↔ Jazz Club ↔ Club ↔ BBE  
↔ OFF



選んだ音場プログラムが表示されます。

## BBEを選ぶ場合

### 1 SFCモード (SFC) にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(☞ 音の調節⑧ 60ページ)

### 2 BBEを選ぶ

ロータリーコマンドーを左右に操作して選ぶ

### 3 BBEのレベルを調節する

ロータリーコマンドーを上下に操作する  
上：レベルを大きくするとき  
下：レベルを小さくするとき



レベルは-4～+4の範囲で調節できます。

#### メモ

- この製品はBBEサウンド・インコーポレーテッドからの実施権に基づき製造されています。この製品は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc.の登録商標です。

## 音の調節

# 19

## 騒音に合わせて音量を変える

ASL

騒音に合わせて、自動的に音量が変わるようにすることができます。

### ASLについて

ASLとは、Automatic Sound Levelizer (オートマッチングサウンドレベライザー) の略です。ASLは、走行速度や道路状況によって変化する車内の騒音を検出して、騒音が大きくなると自動的に音量を大きくする機能です。

### 1 ASLモード (ASL) にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(☞ 音の調節⑧ 60ページ)

### 2 ASLをONにする

ロータリーコマンドーを押す  
ロータリーコマンドーを押すごとにON/OFFします。

### 3 ASLの感度を選ぶ

ロータリーコマンドーを上下に操作する  
ロータリーコマンドーを上下に操作するごとに次のように切り換わります。  
Low ↔ Mid-Low ↔ Mid ↔ Mid-High ↔ High



#### メモ

- 音量が十分にあるときは、騒音が大きくても、音量の上げ幅は小さくなります。
- この機能が動いて音量が上がりすぎたとき、音が歪むことがあります。そのときはVOLUMEを左に回して音量を下げてください。

音の調節

20

各ソースの音量の  
違いをそろえる

SLA

ソースを切り換えたとき音量に違いが出ないように、FMの音量を基準にして各ソースの音量の違いをそろえることができます。

## 1 FMを受信し、FMの音量を 確かめる

SOURCEボタンを押す  
(※ ここだけで④ 20ページ)

## 2 調節したいソースに切り換える

SOURCEボタンを押す  
(※ ここだけで① 14ページ)

## 3 SLAモード (SLA) にする

ロータリーコマンドーを操作して選ぶ  
(※ 音の調節⑥ 60ページ)

## 4 レベルを調節する

ロータリーコマンドーを上下に操作する  
上：レベルを大きくするとき  
下：レベルを小さくするとき



- 4 ~ + 4 の範囲で調節できます。

### メモ

- SLAとはSource Level Adjuster (ソースレベルアジャスター) の略です。
- FMの音量を基準に他のソースとの音量差を調節するため、FMを聞いているときは、SLAモード (SLA) に切り換えることはできません。
- AM、テレビ、CD、External (エクスターナルユニット)、AUX (外部機器) のそれぞれの音量差を調節することができます。なお、内蔵CDとマルチCD、External 1とExternal 2、およびAMと交通情報 (※ 便利な機能④ 81ページ) は同じ設定になります。

音の調節

21

オートタイムアライメント&  
イコライジングを行う前に

Auto TA&amp;EQ

Auto TA&EQ (オートタイムアライメント&イコライジング) を行う前に必ずお読みください。



## 警告

走行中にAuto TA&EQを行わない



禁止

自動車が行走中にAuto TA&EQを行わないでください。Auto TA&EQ機能は車室内の音響特性を測定するために、スピーカーから大音量の計測音を出すことがあります。この場合、運転の妨げになり事故の原因となることがあります。

### スピーカー破損防止について

次の状態でAuto TA&EQを行うと、スピーカーが破損する恐れがあります。Auto TA&EQを行う前に、よく確認してください。

- スピーカーの接続を誤っている場合 (例：サブウーファー出力にリアスピーカーを接続している場合)
- スピーカーの耐入力を超える出力のパワーアンプを接続している場合

### Auto TA&EQ機能について

- 車室内空間は、その広さや複雑な形状、材質により、ホームオーディオに比べ、一般的に音響特性が大きく乱れています。このような車室内の音響特性を補正するためにイコライザーを使用しますが、測定器などを使用せずに設定するのはかなり困難な作業になります。
- 本機のAuto TA&EQ機能は、車室内の音響特性を自動的に測定し、そのデータに基づいて、車室内の音響特性が乱れの少ない滑らかな特性に近づくように自動的に補正します。(イコライザーカーブを呼び出したときは、Auto TA&EQにより乱れの少ない滑らかな特性になった上でイコライザーカーブが設定されますので、より効果的になります。) また、各スピーカーからリスニングポジションまでの距離を自動的に測定し、音声の到達時間を補正し、音像の定位や全体的なバランスを調整します。

## — Auto TA&EQを行う前にお読みください —

- Auto TA&EQは、なるべく静かな所で、車のエンジンおよびエアコンやヒーターを止めて行ってください。また、携帯電話や自動車電話などを車載している場合は、電話を車外へ持ち出すが電源を切ってからAuto TA&EQを行ってください。計測音以外の音（車周辺の騒音、エンジン音、電話の着信音など）によって、車室内の音響特性が正しく測定できないことがあります。
- Auto TA&EQは、必ず付属のマイクを使用し行ってください。付属のマイク以外のマイクでは、Auto TA&EQが実行できなかつたり、車室内の音響特性が正しく測定できません。
- フロントスピーカーが接続されていない場合は、Auto TA&EQが実行できません。
- フロントスピーカーをミュートしている場合、Auto TA&EQが実行できません。
- 入力レベルコントロール付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプの入力レベルコントロールを下げていると、Auto TA&EQが実行できない場合があります。パワーアンプの入力レベルコントロールは推奨位置に合わせてください。
- ローパスフィルター付きのパワーアンプを接続している場合、パワーアンプのローパスフィルターはOFFにして測定してください。また、パワードサブウーファー内蔵のローパスフィルターは、カットオフ周波数を最も高い周波数に設定してください。
- Auto TA&EQ測定時に算出したタイムアレイメントの値は、次の場合に実際の距離と異なる場合がありますが、計測状況によりコンピューターが算出した正確な遅延時間をもとに設定された距離です。そのままの値でご使用ください。
  - \* 車室内の反射音が直接音より強く、かつ遅延を生じている場合。
  - \* パワードサブウーファーや外部アンプのローパスフィルターの影響により、低音に遅延が生じている場合。
- Auto TA&EQを行うと、各モードの内容が次のように変更されます。
  - \* 前後左右の音量バランス調節（フェーダー/バランス）の設定がリセットされ、初期設定に戻ります。
  - \* イコライザーカーブは、フラット（FLAT）になります。
  - \* リスニングポジションセレクターは、Front Rightに設定されます。（ただし、Front Leftに設定していたときだけは、Front Leftのままになります。）
  - \* サブウーファーを接続している場合、サブウーファー出力とリアハイパスフィルターの設定が調節されます。（サブウーファー出力をOFFにしても、自動的にONになり調節されます。）

## — Auto TA&EQの調節内容について —

- 一度Auto TA&EQを行ったあとに、再度Auto TA&EQを行うと、前のAuto TA&EQの調節内容は消去されます。

音の調節

22

## オートタイムアライメント&amp;イコライジングを行う

STD

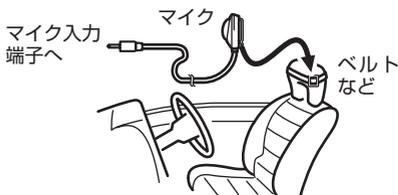
車室内の音響特性を自動的に計測して、車室内の音響特性を最適に自動補正することができます。

## 1 車の環境を整える

- 静かな所に車を停車させる
- ドア、窓、サンルーフなどを閉める
- 車のエンジンを停止させる

## 2 マイクをセットする

ベルトなどを使用して、運転席のヘッドレストの中央に付属のマイクを前向きに固定する



## ご注意

マイクの取付位置が悪いと、測定音が大きくなったり測定時間がかかったりして、車のバッテリーが上がる恐れがあります。マイクは必ず指定の位置に取り付けてください。

## 3 車のエンジンスイッチをACCまたはONにする

## ご注意

車のエアコンやヒーターがONになっている場合は、OFFにしてください。エアコンやヒーターのファンの騒音によってAuto TA&EQが実行できないことがあります。

## 4 本機の電源を入れる

SOURCEボタンを押す

## 5 乗車位置を決定する

リスニングポジションセレクターモードにして、乗車位置をマイクをセットした座席に設定する。(※ 音の調節④ 61ページ)

## メモ

- 乗車位置をFront RightまたはFront Left以外に設定したときは、Auto TA&EQを始めると、強制的にFront Rightに再設定されます。

## 6 本機の電源を切る

SOURCEボタンを1秒以上押す

## 7 Auto TA&amp;EQ設定モードにする

EQボタンを2秒以上押す

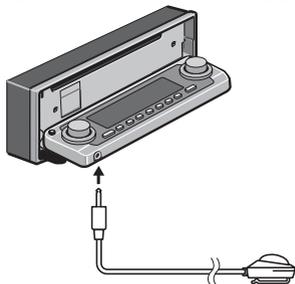


フロントパネルが自動的に開きます。

ます。

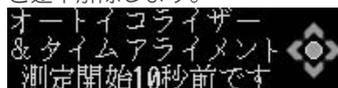
## 8 マイクを本機に接続する

付属のマイクをマイク入力端子に接続する



## 9 Auto TA&EQを始める

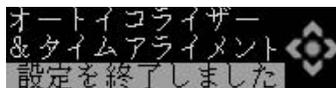
ロータリーコマンドを押す  
もう一度ロータリーコマンドを押すと途中解除します。



## 10 車外に出る

10秒のカウントダウンが始まるので、  
10秒以内に車外に出て、ドアを開める  
計測音（ノイズ）が各スピーカーから  
出力され、Auto TA&EQが始まります。

## 11 Auto TA&EQが自動的に終了する



Auto TA&EQ操作が終わったらセットしたマイクを取り外し、BANDボタンを押して電源を切り、▲ボタンを2秒以上押してフロントパネルを元の位置に戻してください。

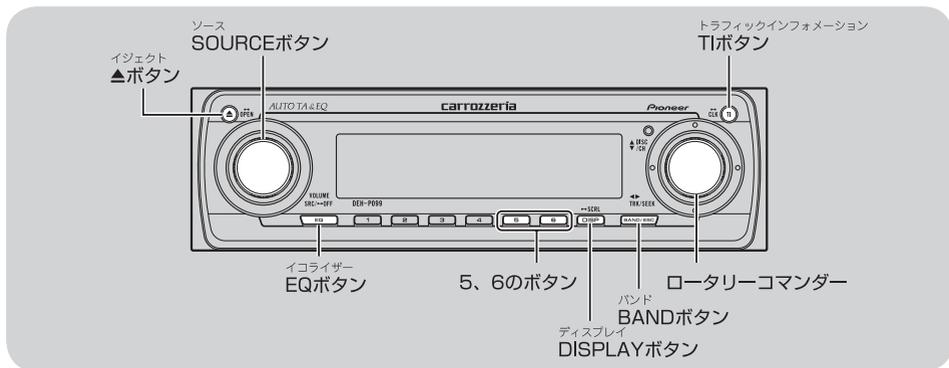


注意

- フロントパネルの開閉動作中は、指などを挟まないようにご注意ください。
- フロントパネルを開けたまま、走行しないでください。急ブレーキ時にフロントパネルに体が当たったりして、思わぬケガをする恐れがあります。

### メモ

- Auto TA&EQを途中でやめたいときは、BANDボタンを押してください。強制的に解除して、電源OFFになります。
- マイクをセットする位置により、Auto TA&EQの調節内容が変わります。お好みにより、助手席にセットすることもできます。
- マイクはグローブボックスなどに、大切に保管してください。直射日光の当たる場所に長時間放置すると、高温による変形、変色、故障の原因になる恐れがあります。



便利な機能

1

**瞬時に音量を小さくする**

アッテネーター

車内の会話が聞き取りにくいときに、瞬時に音量を小さくすることができます。

1 瞬時に音量を小さくする

リモコンのATTボタンを押す  
ボタンを押すごとにON/OFFします。



アッテネーターがONのときに反転表示します。  
アッテネーターがONのときは、音量が約1/10になります。

便利な機能

2

**時計を表示させる**

時計表示

本機の電源がONのとき、または電源がOFFでデモモード (☞ はじめに⑩ 11ページ) を解除しているときに、時計を表示させることができます。

1 時計を選ぶ

TIボタンを2秒以上押す  
ボタンを2秒以上押すごとにON/OFFします。



メモ

●時計を合わせるには (☞ 便利な機能⑥ 83ページ)

## よく使う機能を直接操作する

ダイレクトファンクション

リモコンのDFボタンを押すと、よく使う機能をソースごとに直接操作することができます。

内蔵CD、WMA/MP3/WAV、マルチCD、1枚型DVD/マルチDVDのとき

### 1 再生を一時停止する

リモコンのDFボタンを押すボタンを押すごとに機能がON/OFFします。  
 (※ 内蔵CD⑥ 26ページ、WMA/MP3/WAV⑥ 33ページ、マルチCD⑦ 45ページ、1枚型DVD/マルチDVDの取扱説明書)

#### ラジオのとき

### 1 BSMを始める

リモコンのDFボタンを2秒以上押すBSMが始まります。  
 (※ ラジオ④ 39ページ)

#### メモ

- BSM中にリモコンのDFボタンを押すことで、BSMを途中解除することもできます。

#### テレビのとき

### 1 BSSMを始める

リモコンのDFボタンを2秒以上押すBSSMが始まります。  
 (※ テレビの取扱説明書)

#### メモ

- BSSM中にリモコンのDFボタンを押すことで、BSSMを途中解除することもできます。

## 交通情報を受信する

トラフィックインフォメーション

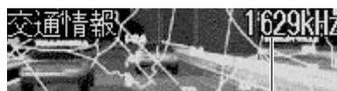
AM 1,620 kHzまたは1,629 kHzの交通情報を、簡単に受信することができます。

### 1 交通情報を受信する

TIボタンを押す  
 交通情報を受信します。

### 2 放送に合わせて周波数を切り換える

ロータリーコマンドを左右に操作する  
 右：1,629 kHzにするとき  
 左：1,620 kHzにするとき



受信周波数

### 3 交通情報の受信をやめる

TIボタンを押す  
 交通情報を受信する前の状態に戻ります。

#### メモ

- この機能は、電源がOFFのときでも、どのソースからでも操作できます。
- 交通情報を受信しているときに音量を調節すると、交通情報用の音量として設定することができます。
- 交通情報を受信すると、SFC (※ 音の調節⑩ 74ページ) がOFFになり、イコライザーカーブは交通情報用になります。交通情報の受信をやめるとSFCおよびイコライザーカーブは、もとの状態に戻ります。

## 初期設定モードの切り換えかた

外部機器やディマーの設定をするときは、初期設定モードを切り換えて操作します。

### 1 電源をOFFにする

SOURCEボタンを1秒以上押す

(☞ ここだけで① 14ページ)

### 2 初期設定モードにする

電源がOFFのときにロータリーコマンドを2秒以上押す

### 3 初期設定モードを切り換える

ロータリーコマンドを回す

ロータリーコマンドを回すごとに次のように切り換わります。

時計調整モード

(☞ 便利な機能⑧)



AUX (外部機器) モード

(☞ 便利な機能⑦)



ディマーモード

(☞ 便利な機能⑨ 84ページ)



輝度調整モード

(☞ 便利な機能⑩ 85ページ)



デジタルアッテネーターモード

(☞ 便利な機能⑪ 85ページ)



ミュートモード

(☞ 便利な機能⑫ 86ページ)



デモンストレーションモード

(☞ 便利な機能⑬ 86ページ)



画面反転機能モード

(☞ 便利な機能⑭ 87ページ)



連続スクロールモード

(☞ 便利な機能⑮ 87ページ)



時計調整モードに戻る

#### メモ

- 初期設定モードを解除するには、BANDボタンを押します。(解除すると、電源がOFFになります。)

## 時計を合わせる

時計合わせ

時計を合わせることができます。

### 1 時計調整モードにする

電源がOFFのときにロータリーコマンドを2秒以上押す



### 2 時計の設定をする

#### ■ 時、分を選ぶ

ロータリーコマンドを左右に操作する  
操作ごとに時、分が切り換わります。

#### ■ 時刻を合わせる

ロータリーコマンドを上下に操作する  
上：時刻を進めるとき  
下：時刻を戻すとき  
時または分を調節すると、0秒からカウントが始まります。

#### ■ 時刻を時報に合わせる

ロータリーコマンドを押す  
「分」が「00」になります。  
例) 10:00 ~ 10:29 → 10:00  
10:30 ~ 10:59 → 11:00

### 3 初期設定モードを解除する

BANDボタンを押す

## 外部機器の音声を聞く

AUX (外部機器) の設定

本機にDATやVTRなどの外部機器を接続すると、その音声を聞くことができます。

### 外部機器との接続について

別売のRCA/IP-BUSインターコネクター「CD-RB20」または「CD-RB10」を使うと、RCA出力のあるDATやVTRを、外部機器として本機に接続することができます。詳しくは、RCA/IP-BUSインターコネクターの説明書をご覧ください。

### 1 AUX (外部機器) モードにする

電源がOFFのときにロータリーコマンドを2秒以上押してから、ロータリーコマンドを回して選ぶ  
(☞ 便利な機能⑥)

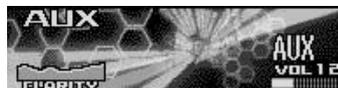
### 2 AUX (外部機器) の設定をONにする

ロータリーコマンドを押す  
ロータリーコマンドを押すごとにON/OFFします。



### 3 ソースをAUXにする

SOURCEボタンを押す  
(☞ ここだけで① 14ページ)



ソースをAUXに切り換えると、外部機器の音声が出力されます。

便利な機能

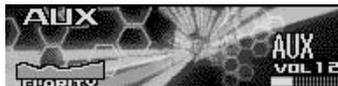
8

## 外部機器の名称を入力する

接続した外部機器の名称を入力することができます。

### 1 ソースをAUXにする

SOURCEボタンを押す  
(※ ここだけで① 14ページ)



### 2 メインメニューにする

ロータリーコマンドーを押す  
「FUNCTION」、「AUDIO」、「ENTERTAINMENT」  
が表示されます。

### 3 外部機器の名称入力モードにする

ロータリーコマンドーを回して  
「FUNCTION」を選び、ロータリーコマ  
ンドーを押す



### 4 外部機器の名称を入力し、記憶させる

CDタイトル入力の手順3～6を参照し、同様の操作で外部機器の名称を記憶させてください。(※ マルチCD⑩ 50ページ)

例) “DAT” を入力した場合



“AUX” の表示のかわりに、入力した名称が表示されます。

便利な機能

9

## 夜間のディスプレイの明るさを切り換える

ディマー

夜間、周囲が暗くなったときにディスプレイがまぶしくならないように、車のライトをONにするとディマーが働き、ディスプレイが暗くなるように設定できます。

### 1 ディマーモードにする

電源がOFFのときにロータリーコマ  
ンダーを2秒以上押してから、ロータリー  
コマンドーを回して選ぶ  
(※ 便利な機能⑩ 82ページ)

### 2 ディマーの設定をONにする

ロータリーコマンドーを押す  
ロータリーコマンドーを押すごとに  
ON/OFFします。



### 3 初期設定モードを解除する

BANDボタンを押す

メモ

- 車のライトをONにしてディマーが働いているときでも、輝度調整モード(※ 便利な機能⑩)でディスプレイの明るさを“0”に調節しているときは、ディスプレイの明るさを変えることはできません。

## ディスプレイの明るさを調節する

ブライツ

ディスプレイの明るさを調節することができます。

### 1 輝度調整モードにする

電源がOFFのときにロータリーコマンドを2秒以上押してから、ロータリーコマンドを回して選ぶ  
(☞ 便利な機能⑩ 82ページ)

### 2 明るさを調節する

ロータリーコマンドを左右に操作する  
右：明るくしたいとき  
左：暗くしたいとき



0～31の範囲で調節できます。

### 3 初期設定モードを解除する

BANDボタンを押す

#### メモ

- ディマラー (☞ 便利な機能⑩) をONにして車のライトをONしている場合、輝度調整モードの調節範囲は0～21になります。

## 音の歪みを補正する

デジタルアッテネーター

イコライザーカーブの設定 (☞ 音の調節⑩ 72ページ) による音の歪みをなくすることができます。

### —— デジタルアッテネーターについて ——

イコライザーカーブの設定でレベルを高く設定した周波数の音域が歪むことがあります。イコライザーカーブの設定で音が歪んだように感じたときは、デジタルアッテネーターの設定を“Low”に切り換えてください。

### 1 デジタルアッテネーターモードにする

電源がOFFのときにロータリーコマンドを2秒以上押してから、ロータリーコマンドを回して選ぶ  
(☞ 便利な機能⑩ 82ページ)

### 2 設定を選ぶ

ロータリーコマンドを押す  
ロータリーコマンドを押すごとにHigh/Lowが切り換わります。



### 3 初期設定モードを解除する

BANDボタンを押す

便利な機能

12

## ミュート/アッテネート を切り換える

ミュート/アッテネート設定

ミュート機能のある製品からミュート信号を受け取ったときに、本機の音声をミュートするかアッテネートするかを選ぶことができます。

### — ミュート/アッテネート機能について —

ミュート機能のあるパイオニア製ナビゲーションシステムと本機を組み合わせると、その製品からミュート信号を受け取っている間だけ、ミュートまたはアッテネート機能が働きます。ミュート信号を受け取っているときの各設定の音量は、次のようになります。

- TEL mute：音量“0”
- 10dB ATT：もとの音量の約1/3
- 20dB ATT：もとの音量の約1/10

ミュートまたはアッテネート機能が解除されると、自動的にもとの音量に戻ります。

## 1 ミュートモードにする

電源がOFFのときにロータリーコマンドを2秒以上押してから、ロータリーコマンドを回して選ぶ  
(※ 便利な機能⑧ 82ページ)

## 2 設定を選ぶ

ロータリーコマンドを押す  
ロータリーコマンドを押すごとに次のように切り換わります。  
TEL mute → 10dB ATT → 20dB ATT  
→ TEL muteに戻る



## 3 初期設定モードを解除する

BANDボタンを押す

便利な機能

13

## フィーチャーデモを ON/OFFする

フィーチャーデモのON/OFFをすることができます。

## 1 デモンストレーションモードに する

電源がOFFのときにロータリーコマンドを2秒以上押してから、ロータリーコマンドを回して選ぶ  
(※ 便利な機能⑧ 82ページ)

## 2 デモンストレーションをONに する

ロータリーコマンドを押す  
ロータリーコマンドを押すごとにON/OFFします。



## 3 初期設定モードを解除する

BANDボタンを押す

### メモ

- フィーチャーデモは、本機がOFFのときに、6ボタンを押すことでもON/OFFすることができます。

## リバースモードをON/OFFする

リバースモードのON/OFFをすることができます。

### 1 画面反転機能モードにする

電源がOFFのときにロータリーコマンドを2秒以上押してから、ロータリーコマンドを回して選ぶ  
(※ 便利な機能⑧ 82ページ)

### 2 画面反転機能をONにする

ロータリーコマンドを押す  
ロータリーコマンドを押すごとにON/OFFします。



### 3 初期設定モードを解除する

BANDボタンを押す

#### メモ

- リバースモードは、本機がOFFのときに、5ボタンを押すことでもON/OFFすることができます。

## CDタイトルなどのスクロールのしかたを切り換える

エバースクロール

エバースクロール機能をONにすると、CDのタイトルなどを連続してスクロールさせることができます。一度だけスクロールさせたいときは、この機能をOFFにしてください。(初期設定ではOFFになっています。)

### 1 連続スクロールモードにする

電源がOFFのときにロータリーコマンドを2秒以上押してから、ロータリーコマンドを回して選ぶ  
(※ 便利な機能⑧ 82ページ)

### 2 連続スクロールの設定をONにする

ロータリーコマンドを押す  
ロータリーコマンドを押すごとにON/OFFします。



### 3 初期設定モードを解除する

BANDボタンを押す

# エンタテインメントを表示する

音楽などを聞いているときに、ディスプレイの表示をエンタテインメント表示に切り換えることができます。車内で、いろいろな表示を楽しむことができます。

## 1 メインメニューにする

ロータリーコマンドーを押す  
「FUNCTION」、「AUDIO」、「ENTERTAINMENT」  
が表示されます。

## 2 エンタテインメントモードにする

ロータリーコマンドーを回して  
「ENTERTAINMENT」を選び、ロータリーコマンドーを押す

## 3 エンタテインメント表示を切り換える

ロータリーコマンドーを回す  
ロータリーコマンドーを回すごとに次のように切り換わります。

- バックグラウンドビジュアル 1 (BGV1)
- ↓
- バックグラウンドビジュアル 2 (BGV2)
- ↓
- バックグラウンドビジュアル 3 (BGV3)
- ↓
- バックグラウンドビジュアル 4 (BGV4)
- ↓
- バックグラウンドピクチャー 1 (BGP1)
- ↓
- バックグラウンドピクチャー 2 (BGP2)
- ↓
- バックグラウンドピクチャー 3 (BGP3)
- ↓
- バックグラウンドピクチャー 4 (BGP4)
- ↓
- バックグラウンドピクチャー 5 (BGP5)
- ↓
- スペアナ 1 (S/A1)
- ↓
- スペアナ 2 (S/A2)
- ↓
- レベルメーター 1 (LEVEL1)
- ↓
- レベルメーター 2 (LEVEL2)
- ↓
- エンタテインメントクロック (E.CLK)
- ↓

シンプル表示 (SIMPLE)  
↓  
エンタテインメント表示OFF (OFF)  
↓  
ブルーストリーム (MOVIE1)  
↓  
ライダー (MOVIE2)  
↓  
バックグラウンドビジュアル 1 (BGV1)  
に戻る

## 4 選んだエンタテインメント表示を設定する

ロータリーコマンドーを押す  
選んだエンタテインメント表示が設定され、エンタテインメントモードが解除されます。

### シンプル表示について

CDの曲番号や再生経過時間、ラジオのバンドや周波数など、各ソースで必要な最小限の情報だけを表示する落ち着いた画面です。

### メモ

- エンタテインメントモードを解除するには、BANDボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。)

# エンタテインメント表示を書き換える

表示データ書き換え

本機のエンタテインメント表示のデータをパソコンで作成したデータやダウンロードしたデータに書き換えることができます。書き換えは、書き換えたいデータを記録したCD-Rで行います。詳細は、下記のホームページのアドレスにアクセスしてください。  
<http://www.pioneer.co.jp/car/pclink3a/>

## 1 電源をOFFにする

SOURCEボタンを1秒以上押す  
(※ ここだけで① 14ページ)

## 2 表示データ書き換えモードにする

### 確認

フロントパネルを閉じていないと、表示データ書き換えモードには切り換わりません。

### EQボタンとDISPLAYボタンを2秒以上押す

フロントパネルが自動的に開きます。(CDがセットされている場合、自動的にCDが出てきます。)

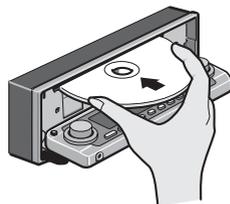


## 3 表示データを書き換える

表示データを記録したCD-RをCD挿入口に差し込む

“Now loading”と表示し、自動的にエンタテインメント表示のデータ書き換えが始まります。書き換えが完了したら、“Finished”と表示されます。

●表示データの書き換えには、しばらく時間がかかります。



## 4 表示データ書き換えモードを終了する

### ▲ボタンを押す

CD-Rが出てきて、電源OFFになります

●出てきたCD-Rはすぐに取り出して、保管してください。

### メモ

- 表示データ書き換えモード中は、本機の▲ボタン以外で操作することはできません。
- 表示データ書き換えモードを途中で解除したいときは、▲ボタンを押してください。
- 表示データ書き換えモード中は、車のイグニッションスイッチ（またはACC）をOFFにしないでください。

その他

## 1

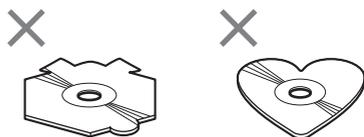
## CDの正しい使いかた

## 使用できるCDについて

- ディスクタイトル面に下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



- 本機は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証及び性能保証は致しかねます。
- ひび、キズ、そりのあるCDは使用しないでください。
- 特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。

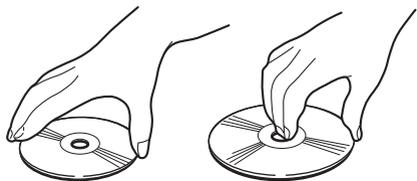


- 音楽用CDレコーダーまたはパソコンで記録したCD-R/CD-RWディスクは、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。
- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定および環境によって再生できないことがあります。（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください。）
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/CD-RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- CD-R/CD-RWディスクに記録されているタイトルなどの文字情報は、本機では表示されない場合があります。（音楽データ（CD-DA）再生時）

- 本機はCD-R/CD-RWディスクのトラックスキップ機能に対応しています。スキップ指定された曲を飛ばして再生します。（音楽データ（CD-DA）再生時）
- ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスクには対応しておりません。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

## 取り扱い上のご注意

- CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。

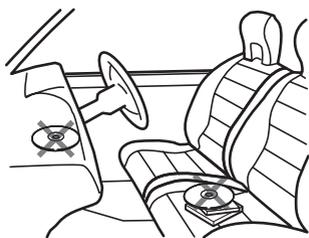


- CDにキズを付けないでください。
- CDにシールなどを貼り付けしないでください。



## 保管上のご注意

- 直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



- CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

## お手入れについて

- CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



- アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。

## CD再生の環境について

- 走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。
- 寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。  
このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

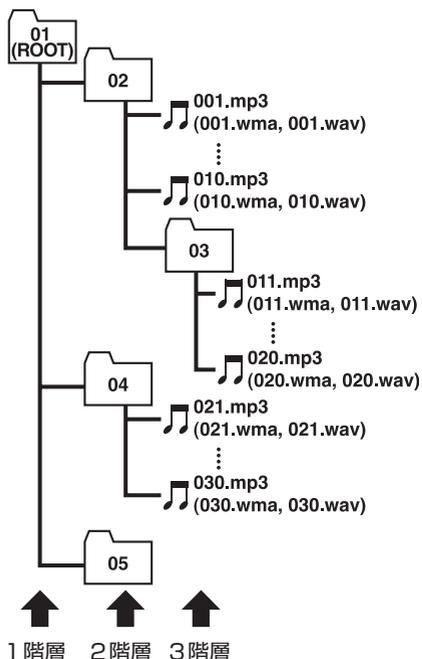
### メモ

- 製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実使用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

## WMA/MP3/WAVファイルについて

フォルダーとWMA、MP3  
およびWAVファイルについて

- WMA、MP3およびWAVファイルを収録したCD-R/CD-RW/CD-ROMのイメージは下図のようになります。



- 本機はWMA、MP3およびWAVファイルが記録されたCD-R/CD-RW/CD-ROMの再生に対応しています。ディスクは、ISO9660のレベル1、およびレベル2、および拡張フォーマット (Joliet, Romeo) に準拠して記録されたディスクが再生可能です。(※ **その他⑥ 100ページ**)
- 本機はマルチセッション (※ **その他⑥ 100ページ**) 方式で記録したディスクの再生に対応しています。
- バケットライト (※ **その他⑥ 100ページ**) には対応していません。

- m3u (※ **その他⑥ 100ページ**) のプレイリストには対応していません。
- MP3i (MP3 interactive) フォーマット、およびMP3 PROフォーマットには対応していません。
- ファイル名の最大表示文字数は、拡張子 (.mp3, .wma, .wav) を含め、全角で32文字、半角で64文字までです。また、フォルダー名の最大表示文字数は全角で32文字、半角で64文字までです。
- 拡張フォーマット (Romeo) (※ **その他⑥ 100ページ**) に準拠して記録されたファイルの場合、全角では先頭から32文字、半角では先頭から64文字までの表示に対応しています。
- 再生などの操作でフォルダーが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。ただし、ライティングソフトによっては、再生の順番を設定できるものもあります。

- ・フォルダー番号は本機が割り当てます。お客様が割り当てることはできません。
- ・CD-R、CD-RW、CD-EXTRA、MIXED-MODE CDディスクにWMA、MP3およびWAVファイルと、音楽データ (CD-DA) が混在しているときは、WMA、MP3およびWAVファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えることができます。WMA、MP3およびWAVファイルと、音楽データ (CD-DA) を切り換えた場合、再生は一番先頭の曲から始まります。
- ・WMA、MP3およびWAVファイルを含まないフォルダーは認識しません。(フォルダー番号の表示をせず、スキップします。)
- ・8階層までのWMA、MP3およびWAVファイルの再生に対応していますが、多くの階層を持つディスクは、再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には、階層を2つ以下にすることをおすすめします。
- ・ディスクに含まれるフォルダーの合計が99個まで再生可能です。

## WMAとは？

- 「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。(※ **その他⑩ 101ページ**)

・ WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、正常に動作しないことがあります。

・ WMAファイルをエンコードしたアプリケーションによっては、アルバム名などの文字情報が正しく表示されないことがあります。

## 再生できるWMAファイルについて

・ WMAファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.wma) を付けてください。

・ 本機は、拡張子 (.wma) が付いているファイルをWMAファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WMAファイル以外には拡張子 (.wma) を付けしないでください。

・ 本機では、Windows Media Player Ver.7、7.1、8、9を使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。

- 再生可能なWMAファイルのサンプリング周波数は32/44.1/48 kHzです。
- 一般的にWMAファイルは、ビットレート(※ **その他⑩ 100ページ**)が高いほど音質は良くなります。本機は、CBR(固定ビットレート)時は、48kbps～320kbps、VBR(可変ビットレート)時は、48kbps～384kbpsのWMAファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高いビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

- デジタル著作権保護(DRM)で保護されたファイルを再生したときは、“Track skipped”と表示され、そのファイルの再生をスキップします。
- ディスク内の全てのファイルがデジタル著作権保護(DRM)で保護されている場合は、“Protect”と表示され、そのディスクの再生はできません。
- 本機は以下のフォーマットには対応していません。
  - \* Windows Media Audio 9 Professional (5.1ch)
  - \* Windows Media Audio 9 Lossless
  - \* Windows Media Audio 9 Voice

## MP3とは？

- MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。(※ **その他⑩ 101ページ**)

## 再生できるMP3ファイルについて

・ MP3ファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子 (.mp3) を付けてください。

・ 本機は、拡張子 (.mp3) が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子 (.mp3) を付けしないでください。

- ID3 Tag(※ **その他⑩ 100ページ**)のVer1.0、1.1、2.2、2.3および2.4のアルバム名(アルバムタイトル)、曲名(トラックタイトル)、アーティスト名(アーティストネーム)の表示に対応しています。なお、ID3 TagのVer1.XとVer 2.Xが混在している場合は、Ver 2.Xが優先されます。

つづ→

- 32/44.1/48 kHzのMP3ファイルを再生している場合のみエンファシスに対応しております。(なお、再生可能なサンプリング周波数は16/22.05/24/32/44.1/48 kHzです。)
- 一般的にMP3ファイルは、ビットレート(※ **その他⑥ 100ページ**)が高いほど音質は良くなります。本機は、8kbps～320kbpsのMP3ファイルの再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbps以上のビットレートで記録されたディスクの使用を推奨します。

## WAVとは？

- Waveformの略で、Windows® での標準音声フォーマットです。

## 再生できるWAVファイルについて

- ・ WAVファイルに名前を付けるときは、ファイル名のあとに拡張子(.wav)を付けてください。
- ・ 本機は、拡張子(.wav)が付いているファイルをWAVファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、WAVファイル以外には拡張子(.wav)を付けないでください。

- 本機は、LPCM形式およびMS ADPCM形式でエンコードされたWAVファイルの再生に対応しています。(※ **その他⑥ 100ページ**)
- 本機は、LPCM形式では16/22.05/27/32/44.1/48 kHz、MS ADPCM形式では22.05/44.1 kHzのサンプリング周波数で記録されたファイルの再生に対応しています。
- サンプリング周波数の、全ての桁は表示されることがあります。
- 一般的にWAVファイルは、量子化ビット数(※ **その他⑥ 100ページ**)が高いほど音質は良くなります。本機は、LPCM時は8/16 bit、MS ADPCM時は4 bitの量子化ビット数での再生に対応していますが、ある一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、できるだけ高い量子化ビット数で記録されたディスクの使用を推奨します。

# 故障かな? と思ったら

## 故障かな? と思ったら

修理を依頼される前に、次の表の内容をチェックしてください。

## チェックしても直らないときは

本機をリセットしてください。(※ はじめに⑥ 13 ページ)

## それでも直らないときは

保証書とアフターサービス (※ その他⑥ 99ページ) をお読みになり、修理を依頼してください。

## 共通項目

症状	原因	処置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、もう一度確認してください。(※ 取付説明書)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れたヒューズと同じ容量のものと交換してください。(※ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	音量を下げている。	音量を上げてください。 (※ ここだけで④ 17ページ)
	アッテネーターがONになっている。	アッテネーターを解除してください。 (※ 便利な機能① 80ページ)
	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (※ 音の調節⑤ 62ページ)
前または後ろのスピーカーから音が出ない。	前後の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (※ 音の調節⑤ 62ページ)
左または右のスピーカーから音が出ない。	左右の音量バランスの調節が適切でない。	正しく調節してください。 (※ 音の調節⑤ 62ページ)
ディスプレイが反転表示する。	リバースモードがONになっている。	正しく調節してください。 (※ 便利な機能④ 87ページ)

## ラジオ

症状	原因	処置
ラジオの受信中、“ジージー、ザーザー” という雑音が多い。	放送局の周波数が合っていない。	周波数を正しく合わせてください。 (※ ここだけで④ 21ページ)
	放送局の電波が弱い。	他の放送局を選局してみてください。 (※ ここだけで④ 21ページ)
	周りに障害物があるなど、受信状態が良くない。	受信状態が良くなると、雑音も少なくなります。
自動選局できない。	放送局の電波が弱い。	手動で選局してください。 (※ ここだけで④ 21ページ)

## CD、WMA/MP3/WAV

症状	原因	処置
CD再生中、大きな雑音が出る。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDに交換してください。良くなれば、CDの不良です。
CDの再生が途中で止まる。	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (※ その他① 91ページ)
	CDにくもりや水滴がついている。	CDのくもりや水滴をふき取ってください。 (※ その他① 91ページ)
	CDの裏表を逆にしてセットしている。	CDのタイトル面を上にしてセットしてください。 (※ ここだけで② 16ページ)
CDの再生ができない。CDを取り出せない。	本機がディスクを認識していない。	フロントパネルを開けた状態で、▲ボタンを2秒以上押し、ディスクを取り出すことができます。もう一度入れ直してください。

## こんなメッセージが表示されたら

### CD、WMA/MP3/WAVのエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
[ERROR-11] [ERROR-12] [ERROR-17] [ERROR-30]	ディスクが汚れているとき。	ディスクの汚れをふき取ってください。(※ <b>その他</b> 91ページ)
	ディスクにキズやひびがあるとき。	ディスクを交換してください。
[ERROR-12] [ERROR-17]	CD-R/CD-RWを録音しないまま使用しているとき。	CD-R/CD-RWは録音してからお使いください。
[ERROR-10] [ERROR-11] [ERROR-12] [ERROR-17] [ERROR-30] [ERROR-50] [ERROR-A0]	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、ディスク再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
[ERROR-22] [ERROR-23]	再生できないフォーマットのCD-ROMを挿入したとき。	ディスクを交換してください。
[ERROR-44]	すべての曲がトラックスキップ指定されているとき。	ディスクを交換してください。
[No audio]	何も録音されていないCD-ROMを挿入したとき。	WMA/MP3/WAVファイルの記録されているCD-ROMと交換してください。
[Track skipped]	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されたWMAファイルを再生したとき。	デジタル著作権保護 (DRM) で保護されていないファイルを再生してください。
[Protect]	ディスク内の全てのファイルがデジタル著作権保護 (DRM) で保護されているとき。	ディスクを交換してください。

つづく→

#### メモ

- マルチCD再生中に、上記以外のエラーメッセージが表示されたときは、マルチCDの説明書をご覧ください。

## オートイコライジングのエラー表示

メッセージ	原因	処置
「マイクを確認下さい」	マイクが接続されていない。	付属のマイクをきちんと差し込んでください。(※ 音の調節② 78ページ)
「FLスピーカーを確認下さい」 「FRスピーカーを確認下さい」 「Fスピーカーを確認下さい」 「サブウーファーを確認下さい」 「RLスピーカーを確認下さい」 「RRスピーカーを確認下さい」	スピーカーの計測音がマイクで拾えない。	ソースを切り換えて、スピーカーから音が出るか確認してください。音が出ない場合は、スピーカーリード線の接続を確認してください。(※ 取付説明書)
「騒音が大きすぎます」	周囲の騒音レベルが高すぎる。	フロントスピーカーのミュートを解除してください。(※ 音の調節① 69ページ) 付属のマイクを正しくセットしてください。 なるべく静かな所に車を停車し、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めてください。
「Auto TA&EQ できません」	3-wayネットワークモード時にオートイコライジングを実行した。	なるべく静かな所に車を停車し、車のエンジン、およびエアコンやヒーターを止めてください。 付属のマイクを正しくセットしてください。 3-wayネットワークモード時は、オートイコライジングをすることはできません。

## エンタテインメント表示データ書き換え機能のエラー表示

メッセージ (エラー番号)	原因	処置
「CD ERROR」	何らかの原因で情報を正しく読みとれなかったとき。 ディスクに異常 (データの損傷など) があるとき。	ディスクを取り出し、もう一度入れ直してください。それでも同じメッセージが表示される場合は、他のディスクと交換してください。
「CD ERROR A0」	電気系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにしてください。
「Disc ERROR」	書き換え用のデータが入っていないとき。	ディスクを交換してください。
「Download ERROR」 「Transmit ERROR」	データ書き換えができないとき。	CD-ROMを取り出して、もう一度データを書き換えてください。
「FILE ERROR」	データ書き換えに失敗した表示を選んだとき。	もう一度データを書き換えてください。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### 保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

### 保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号は本機に付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

### 補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

### ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

## バケットライト

フロッピーやハードディスクと同じように、必要なファイルを必要な時点で、CD-Rなどに書き込む方式の総称です。

## ビットレート

1秒当たりの情報量を表し、単位はbps (bit per second) です。この数字が大きいほど、音楽を再現するために多くの情報を持つことになるため、同じ符号化方式 (MP3など) での比較では、一般的に数字が大きい方が良い音となります。(MP3とWMAのように、異なる符号化方式の場合、単純な比較はできません)

## マルチセッション

マルチセッションは、データの追加ができる記録方式です。CD-ROMやCD-R、CD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

## リニアPCM (LPCM)

音楽CDに用いられている信号記録方式で、Linear Pulse Code Modulationの略です。音楽CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されています。

## 量子化ビット数

量子化ビット数は、音質を定義する要素の1つで、量子化ビット数が高いほど、音質は良くなります。しかし、量子化ビット数が高くなれば高くなるほどデータ容量も増加するため、より多くの記憶容量が必要となります。

## ID3 Tag

曲の関連情報をMP3ファイルの中に埋め込む方式です。埋め込むことのできる情報は、曲名、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、製作年、コメントなどがあります。この内容はID3 Tag編集機能のあるソフトを利用して自由に編集ができます。通常は文字数などに制限がありますが、曲の再生時に情報を見ることができるようになっています。

## ISO9660フォーマット

CD-ROMのファイルおよびフォルダーに関する論理フォーマットの国際基準です。ISO9660フォーマットには、次のようなレベルに関する規制があります。

### レベル1：

ファイル名は、8.3形式 (名前は半角英文大文字と半角数字、“\_”で8文字以下、拡張子は3文字)

### レベル2：

ファイル名は、最大31文字 (区切り文字、“.”と拡張子を含む) で、各フォルダーの階層は8つ以下

## 拡張フォーマット

Joliet：

ファイル名は、最大で64文字

Romeo：

ファイル名は、最大で128文字

## m3u

プレイリストファイルの拡張子 (.m3u) で、「WINAMP」というソフトで作成したプレイリストに付きます。

## MP3 (エムピースリー)

「MPEG Audio Layer 3」の略で、ISO（国際標準化機構）のワーキンググループ（MPEG）の定めた音声圧縮の規格です。MP3は、音声データを元のデータの約1/10のサイズに圧縮することができます。

## MS ADPCM

Microsoft adaptive differential pulse code modulationの略で、米国Microsoft Corporationのマルチメディア・ソフトウェアで使用される信号記録方式です。

## VBR (バイビーアール)

「Variable Bit Rate（可変ビットレート）」の略です。一般的にはCBR（固定ビットレート）が多く使われていますが、音声圧縮では圧縮状況に合わせてビットレートを可変することで、音質を優先した圧縮が可能となります。

## WAV

Waveformの略で、Windows® での標準音声フォーマットです。

## WMA (ダブルユーエムエー)

「Windows Media™ Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Player Ver.7以降を使用してエンコードすることができます。

Microsoft、Windows Media、Windowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他

## 7

## おもな仕様

## ■CDプレーヤー部

形式	: コンパクトディスク オーディオシステム
使用ディスク	: コンパクトディスク
信号	フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz 量子化ビット数 : 16ビット直線
周波数特性	: 5 ~ 20,000 Hz (±1 dB)
S/N	: 100 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)
ダイナミック	レンジ : 95 dB (1 kHz)
チャンネル数	: 2 (ステレオ)
MP3	デコーディング
フォーマット	: MPEG-1 & 2 Audio Layer-3
WMA	デコーディング
フォーマット	: Ver.7、7.1、8、9 (2ch audio)
WAVシグナル	フォーマット : リニアPCM、MS ADPCM

## ■FMチューナー部

受信周波数帯域	: 76.1 ~ 89.9 MHz
実用感度	: 8 dBf (0.7 $\mu$ V/75 $\Omega$ 、 モノラル、S/N : 30 dB)
S/N 50 dB	感度 : 10 dBf (0.9 $\mu$ V/75 $\Omega$ 、モノラル)
S/N	: 75 dB (IHF-A ネットワーク)
高調波歪率	: 0.3 % (65 dBf入力、1 kHz、ステレオ) 0.1 % (65 dBf入力、1 kHz、モノラル)
周波数特性	: 30 ~ 15,000 Hz (±3 dB)
ステレオ	セパレーション : 45 dB (65 dBf入力、1 kHz)

## ■AMチューナー部

受信周波数帯域	: 522 ~ 1,629 kHz (9 kHz)
実用感度	: 18 $\mu$ V (S/N : 20 dB)
S/N	: 65 dB (IHF-Aネットワーク)

## ■オーディオ/DSP部

最大出力	: 50 W × 4
定格出力	: 22 W × 4 (50 ~ 15,000 Hz、5 % THD)
負荷	インピーダンス : 4 $\Omega$ (4 ~ 8 $\Omega$ 使用可能)
プリアウト	最大出力レベル : 2.2 V
出力	インピーダンス : 1 k $\Omega$
ラウドネス	コンター : 10 dB (100 Hz) 6.5 dB (10 kHz) (ボリューム : -30 dB)
イコライザー	(13バンド
グラフィック	イコライザー): 周波数 : 50/80/125/200/ 315/500/800/1.25k/ 2k/3.15k/5k/8k/ 12.5k Hz 調整幅 : ±12 dB (2 dB)
オートイコライザー	(スタンダードモード
のみ)	(13バンド
グラフィック):	周波数 (F + R + SW) : 50/80/125/200/ 315/500/800/1.25k/ 2k/3.15k/5k/8k/ 12.5k Hz 調整幅 : -12 dB ~ +6 dB (2 dB)
ネットワーク	(スタンダードモード)
ハイパス	フィルター : 周波数 (F + R) : 50/63/80/100/125/ 160/200 Hz
スロープ	: 0 (Pass)、-6、 -12 dB/oct.
調整幅	: -24 dB ~ OdB/Mute (1 dB)
サブウーファー	出力 : 周波数 : 50/63/80/100/125/ 160/200 Hz
スロープ	: -6、-12、 -18 dB/oct.
調整幅	: -24 dB ~ +6 dB/Mute (1 dB)
位相	: NORMAL/REVERSE

## ■オーディオ/DSP部 (つづき)

ネットワーク

(3ウェイネット  
ワークモード)

HIGH (HPF): 周波数: 1.6/2/2.5/3.15/4/  
5/6.3/8/10/12.5/  
16 kHz

スロープ: -6、-12、-18、  
-24 dB/oct.

調整幅: -24 dB ~ 0 dB/Mute  
(1 dB)

位相: NORMAL/REVERSE

MID (HPF/LPF): 周波数 (LPF):

1.6/2/2.5/3.15/4/  
5/6.3/8/10/12.5/  
16 kHz

周波数 (HPF):

31.5/40/50/63/  
80/100/125/160/  
200 Hz

スロープ: 0(Pass)、-6、  
-12、-18、  
-24 dB/oct.

調整幅: -24 dB ~ 0dB/Mute  
(1 dB)

位相: NORMAL/REVERSE

LOW (LPF): 周波数: 31.5/40/50/63/80/  
100/125/160/200 Hz

スロープ: -12、-18、  
-24、-30、  
-36 dB/oct.

調整幅: -24 dB ~ +6 dB/Mute  
(1 dB)

位相: NORMAL/REVERSE

## ■共通部

使用電源 : DC 14.4 V  
(10.8 ~ 15.1 V 使用可能)

アース方式 : マイナスアース方式

最大消費電流 : 10.0 A

外形寸法

(取付寸法) : 178 (W) × 50 (H) × 164 (D) mm

(ノーズ寸法) : 170 (W) × 45 (H) × 24 (D) mm

質量 : 1.6 kg (コードユニット含まず)

## ■付属品

コードユニット : 1 式

取付ネジ類 : 1 式

マイク : 1

リモコン : 1

リチウム電池 (CR2025): 1

取扱説明書 : 1

取付説明書 : 1

安全上のご注意 : 1

保証書 : 1

ご相談窓口・

修理窓口のご案内 : 1

## メモ

- 上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。

その他

## 8

## DSP 調整値記入表

## 3-wayネットワークモード (NW)

## ネットワーク設定

フィルター	Low LPF	Mid HPF	Mid LPF	High HPF
遮断周波数 (Hz)				
レベル (dB)				
スロープ (dB/oct.)				
位相				

## タイムアライメント設定

スピーカーユニット	High L	High R	Mid L	Mid R	Low L	Low R
距離 (cm)						

## スタンダードモード (STD)

## ネットワーク設定

フィルター	SW1, SW2, SW3	F-HPF1, F-HPF2	R-HPF1, R-HPF2
遮断周波数 (Hz)			
レベル (dB)			
スロープ (dB/oct.)			
位相			

## タイムアライメント設定

スピーカーユニット	Front L	Front R	Rear L	Rear R	Sub.W
距離 (cm)					

## イコライザーカーブ設定

## Custom2

周波数 (Hz)	50	80	125	200	315	500	800	1.25k	2k	3.15k	5k	8k	12.5k
レベル (dB)													

パイオニア製品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

なお、修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな？と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、① 型名、② ご購入日、③ 故障症状を具体的にご連絡ください。

### ●ホームページ

商品に関する「よくあるお問い合わせ」FAQのご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/faq/index.html>

<下記窓口へのお問い合わせ時のご注意>

市外局番「0070」で始まる  フリーフォン、および「0120」で始まる  フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからはご使用になれません。また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

## 製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

### カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付 月曜～金曜 9:30～17:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

●カーオーディオ／カーナビゲーション製品のご相談窓口： **0070-800-8181-11**  
：【一般電話】 **03-5496-8016**

●家庭用オーディオ/ビジュアル製品  
（PDP・DVDなど）のご相談窓口： **0070-800-8181-22**

●カタログのご請求窓口： **0070-800-8181-33**  
カタログ請求とメールサービス登録のご案内 <http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html>

●ファックス受付：**03-3490-5718**

## 部品のご購入についてのご相談窓口

●部品（付属品・リモコン・取扱説明書など）のご購入については、部品受注センターにご相談ください。

### 部品受注センター

受付 月曜～金曜 9:30～18:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

電話： **0120-5-81095**

：【一般電話】 **0538-43-1161**

ファックス： **0120-5-81096**

## 修理についてのご相談窓口

●お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、下記の修理受付センターへ（沖縄の方は、沖縄サービスステーションへ）

### 修理受付センター（沖縄県を除く全国）

受付 月曜～金曜 9:30～20:00、土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

電話： **0120-5-81028**

：【一般電話】 **03-5496-2023**

ファックス： **0120-5-81029**

### 沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付 月曜～金曜 9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

電話：【一般電話】 **098-879-1910**

ファックス：**098-879-1352**

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

©パイオニア株式会社 2003

<KMMFX> <O3L00000> <CRA3591-A/N>